

三郷町教育委員会  
教育に関する事務の点検及び評価報告書  
(令和4年度実施分)

令和5年9月  
三郷町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、令和4年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ、報告いたします。

令和5年9月5日

三郷町教育委員会

教育長	大西 孝浩
教育長職務代理者	鶴丸 浩
委員	芝崎 善彦
委員	窪内 真一
委員	下方 恵理

# 目 次

I	点検・評価の概要	1
II	町教育委員会の活動状況	2
III	施策及び事業の点検・評価	5
	1. 三郷町教育大綱との対応関係	6
	2. 令和4年度主要事業と主な内容	7
	3. 点検・評価項目	
	①学校施設の整備	8
	②教職員研修の充実	10
	③就学の支援	12
	④特別支援教育の推進	14
	⑤情報・国際教育の推進	16
	⑥いじめ・不登校の対策	18
	⑦地域の教育力の向上	20
	⑧安全・安心の学校づくり	22
	⑨学校給食体制の整備	24
	⑩幼児教育の充実	26
	⑪生涯学習の推進	28
	⑫青少年の健全育成	30
	⑬人権教育・啓発の推進	32
	⑭文化センターの充実	34
	⑮文化活動への支援	36
	⑯図書館の充実	38
	⑰生涯スポーツの推進	40
	⑱スポーツ施設の整備	42
IV	学識経験者の知見の活用	44

# I 点検・評価の概要

## 1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

## 2. 点検・評価の対象

点検及び評価は令和4年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

## 3. 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、令和4年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の3つの柱のもとに設定した21の基本施策に係る主な施策を18の点検評価項目として定め、事務、事業ごとの令和4年度実績を検証し、「事業評価シート」にまとめました。
- ③点検及び評価に当たっては、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者から指導・助言を受け、報告書をまとめました。

### 【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
かなやま 金山 のりまさ 憲正	奈良学園大学 学長 (人間教育学部 教授)

### 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 町教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員

役職名	氏名	備考
教育長	大西孝浩	
教育長職務代理者	鶴丸浩	
委員	芝崎善彦	
委員	窪内真一	
委員	下方恵理	

### 2. 教育委員会議の開催状況

- ①定例会・・・12回
- ②臨時会・・・0回

### 3. 教育委員会議の審議状況

- ①審議事項・・・29件
- ②報告事項・・・15件（各課別報告除く。）

※次頁以降に、令和4年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については「議案」として、その他の報告事項については「報告」に分類し、記載しています。

### 4. 教育委員の活動状況

- ①学校(園)計画訪問実施(年1回)  
幼稚園1園、小学校2校、中学校1校
- ②小中学校教諭との意見交換会(年1回)  
小学校2校・中学校1校
- ③各小中学校・幼稚園PTA役員との意見交換会(年1回)
- ④学校行事への参加・・・縮小実施のため不参加  
入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等
- ⑤各種会議、行事、研修会等への参加  
子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年育成各種会議、不登校対策連絡会、各種研修・研究大会、成人式等 ※書面決議及び一部中止

令和4年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	令和4年 第4回教育委員会定例会	開会日	令和4年4月26日 (火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷町立学校教職員安全衛生管理規則の制定の専決処分について</li> <li>・三郷町立学校の学校評議員に関する要綱の廃止の専決処分について</li> <li>・三郷町教育委員会産業医の委嘱の専決処分について</li> <li>・三郷町学校運営協議会委員の委嘱の専決処分について</li> <li>・三郷町小中一貫コミュニティ・スクール運営委員会委員の委嘱の専決処分について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局職員の人事異動について</li> <li>・教職員の人事異動について</li> <li>・生駒郡教育長会について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	令和4年 第5回教育委員会定例会	開会日	令和4年5月23日 (月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷町教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正について</li> <li>・三郷町立学校給食センターの設置及び管理運営に関する条例施行規則の全部改正について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアルについて</li> <li>・生駒郡地教委連絡協議会について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	令和4年 第6回教育委員会定例会	開会日	令和4年6月21日 (火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員報告について</li> <li>・令和3年度図書館の利用状況について</li> <li>・令和4年第2回 (6月) 三郷町議会定例会について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	令和4年 第7回教育委員会定例会	開会日	令和4年7月19日 (火)
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期休業期間中の町立学校における学校閉庁の実施について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	令和4年 第8回教育委員会定例会	開会日	令和4年8月16日 (火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する事務の点検及び評価報告書 (令和3年度実施分) について</li> <li>・三郷町文化センター条例の一部改正について</li> <li>・三郷町文化センター条例施行規則の一部改正について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	令和4年 第9回教育委員会定例会	開会日	令和4年9月20日 (火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年第3回 (9月) 三郷町議会定例会について</li> <li>・給食センターの現状及び給食費の適正化について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		

会 議	令和4年 第10回教育委員会定例会	開会日	令和4年10月18日(火)
議案	・令和5年三郷町「はたちのつどい」の開催について		
報告	・各課別報告		
会 議	令和4年 第11回教育委員会定例会	開会日	令和4年11月18日(金)
議案	・三郷町スポーツ振興基金条例の制定について ・FSS35スポーツパークの設置及び管理に関する条例の制定について		
報告	・各課別報告		
会 議	令和4年 第12回教育委員会定例会	開会日	令和4年12月20日(火)
議案	・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について(2件) ・令和4年度卒業(園)式及び令和5年度入学(園)式について		
報告	・令和4年第4回(12月)三郷町議会定例会について ・各課別報告		
会 議	令和5年 第1回教育委員会定例会	開会日	令和5年1月24日(火)
議案	・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について(2件)		
報告	・各課別報告		
会 議	令和5年 第2回教育委員会定例会	開会日	令和5年2月21日(火)
報告	・各課別報告		
会 議	令和5年 第3回教育委員会定例会	開会日	令和5年3月28日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度三郷町学校運営協議会委員の委嘱又は任命について</li> <li>・令和5年度三郷町小中一貫コミュニティ・スクール運営委員会委員の委嘱又は任命について</li> <li>・スポーツ団体等に所属する町外居住者の三郷町立学校への区域外就学に係る身元引受人の認定に関する要綱の制定の専決処分について</li> <li>・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について</li> <li>・令和5年度町立学校(園)の教育課程について</li> <li>・FSS35スポーツパークの設置及び管理に関する条例施行規則の制定について</li> <li>・三郷町児童生徒就学援助要綱の一部改正について</li> <li>・三郷町文化・スポーツ活動事業助成金交付要綱の一部改正について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年第1回(3月)三郷町議会定例会について</li> <li>・FSS35スポーツパークの設置及び管理に関する条例の補足事項について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		

### Ⅲ 施策及び事業の点検・評価

#### 1. 点検・評価の項目

点検及び評価に当たっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町教育大綱」の施策体系に沿って、次頁の表のとおり21の項目に基づき「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法及び結果について、PDCAサイクル(※)に従い、詳細に記載するとともに、成果指標と決算額を示し、成果とコストを明確にするようにしています。

また、国や県の補助事業については、その内容や額等を明記しています。

#### 2. 点検・評価結果の内容

各項目は、「1. 基本事項」「2. 事業概要・目的」「3. 事業実績・結果」「4. 点検評価・課題」「5. 改善方法・結果」「6. 今後の計画・方向性」に分類しています。

##### 【基本事項】

→施策の名称、担当課、教育大綱との相関性及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

##### 【事業概要・目的】

→各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

##### 【事業実績・結果】

→実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、令和4年度実績です。（「◎」については、補助事業を示します。）

##### 【点検評価・課題】

→事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。

また、課題については、継続的な課題とともに、令和4年度における新たな課題に分類して記載しています。

##### 【改善方法・結果】

→継続的な課題に対する改善方法及び結果並びに新たな課題に対する改善方法などについて記載しています。

##### 【今後の計画・方向性】

→事業の今後の方向性と計画について記載しています。

#### ※PDCAサイクル

計画(PLAN)→実行(DO)→点検(CHECK)→見直し(ACTION)の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。



## 【三郷町教育大綱との対応関係】

### <教育大綱 基本目標>

#### I 「子育てなら三郷町」

仕事と子育ての両立を支援するサービスと質の高い教育を提供し、若い世代や子育て世代に「安心して子育てができる」と感じてもらえるまちを目指します。

#### II 「教育なら三郷町」

まち全体で子どもたちの成長をサポートできるよう、ICT環境を整備また活用し、地域の豊かな自然と歴史を活かした教育等を取り入れて学校教育の充実を図るとともに、孤立する子どもをつくらないための取組等を積極的に進めます。

また、学校と地域の連携を深めながら、地域における学習や世代間交流の場づくりなど、すべての人が生涯にわたり学習できる機会を提供します。

#### III 「住み続けるなら三郷町」

生涯を「学び」の機会として捉え、心豊かな「ふれあい」と「地域愛」をもって、子どもからお年寄りまですべての人が生きがいをもってイキイキと暮らすことのできる活力ある地域づくりを進めます。

基本目標	基本施策	点検・評価項目頁
I 「子育てなら三郷町」	①放課後の学習の機会の充実と子どもたちの居場所づくり	P20
	②豊かな心と感性を育む幼児教育の充実	P26
	③誰もが質の高い教育を受けることができる就学の支援	P12
II 「教育なら三郷町」	④学校施設の整備と充実	P8
	⑤ICTを活用した小中一貫教育の導入	P16
	⑥特別支援教育の充実	P14
	⑦ICT教育と国際教育の推進	P16
	⑧いじめ・不登校の対策の推進	P18
	⑨安全な学校づくり	P22
	⑩学校給食体制の充実	P24
	⑪地域の教育力の向上	P20
	⑫文化教育の推進と地域愛の醸成	P36
	⑬幅広い図書利用の推進	P38
III 「住み続けるなら三郷町」	⑭生涯学習の推進	P28
	⑮青少年の健全育成の充実	P30
	⑯人権教育・啓発の推進	P32
	⑰文化センターの充実	P34
	⑱文化活動への支援	P36
	⑲図書館の充実	P38
	⑳生涯スポーツの推進	P40
㉑スポーツ施設の整備	P42	

## 令和4年度主要事業と主な内容

点検・評価項目	主要事業及び内容	
①学校(園)施設の整備	・学校、幼稚園の改修・整備工事等 三郷北小学校校舎内壁等共用部改修工事	
②教職員研修の充実	・小・中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加	
③就学の支援	・小・中学校就学援助、育英振興助成 ※令和元年度10月以降、幼稚園無償化	
④特別支援教育の推進	・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励	
⑤情報・国際教育の推進	・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣 ①児童生徒一人一台端末(Chrome book)の利用促進 ②町立学校(各校1名配置)及び幼稚園・保育園へのALT派遣	
	・ICTを活用した小中一貫教育の推進 ①リモート授業による両小学校間における地域学習及び総合学習 ②リモート授業による中学校ALTによる英語授業 ③中学校SDGsフェスにおけるSDGs標語優秀作品表彰式への小学校児童リモート参加	
	⑥いじめ・不登校の対策	・スクールカウンセラー・心の相談員等の活用、メンタルヘルス相談、不登校対策連絡会
	⑦地域の教育力の向上	・子ども人権学習支援事業、小中一貫コミュニティ・スクール ※一部中止や縮小実施
⑧安全・安心の学校づくり	・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール ・見守りビーコンシステムの構築	
	⑨学校給食体制の整備	・安全安心の学校給食、食育・地産地消の推進、食物アレルギー対応
⑩幼児教育の充実	・地域に開かれた幼稚園、子育て支援	
⑪生涯学習の推進	・学習基盤の整備、各種学級の運営 ※一部中止や縮小実施	
⑫青少年の健全育成	・青少年育成三郷町民会議、はたちのつどい ※ふれあいのつどい、教育講演会は中止	
⑬人権教育・啓発の推進	・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談※一部中止や縮小実施	
⑭文化センターの充実	・公開講座・文化教室、グループ活動の支援 ※一部中止や縮小実施 ・施設整備 ①文化ホール屋上防水工事 ②壁面等防水(雨漏り)修繕 ③トイレ床修繕 ④自動ドア更新工事 ⑤ITV設備デジタルディスクレコーダー等機器更新	
	⑮文化活動への支援	・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成
	⑯図書館の充実	・情報資料の提供 ・子ども読書の推進(町立小中学生への電子図書館ID等の配布) ・生涯学習事業の推進(映画上映会、各種コンサート等) ※一部中止や縮小実施
		⑰生涯スポーツの推進
	⑱スポーツ施設の整備	・スポーツ施設の整備、指定管理 ①FSS35スポーツパーク設置工事(スケートボード・BMX・バスケットボール・テニス) ②竜田運動公園施設整備(真砂土入替、バックネット防護マット、トイレ修繕) ③勢野グラウンド施設整備(真砂土入替) ④スポーツセンター施設整備(サブアリーナ空調設備修繕、防球ネット設置、防犯カメラ改修) ⑤ウォーターパーク施設整備(温泉水揚水ポンプ取替・玄関前舗装修繕) ⑥中央公園多目的広場施設整備(グラウンド凍結防止、区画線整備、ミストシャワー修繕) 【指定管理】スポーツセンター・ウォーターパーク 麟翔成(H30年度～R4年度) ・三郷中央公園スポーツ施設長寿命化計画策定業務

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	①学校施設の整備	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の安全性を確保します。</li> <li>・誰もが利用しやすい環境とするため、学校の中で共生社会を具現化できる施設の整備を行います。</li> <li>・SDGsの理念に基づき、脱炭素化の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備を行います。</li> <li>・「新しい時代の学び」を実現する学校施設の整備を行います。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童生徒が「ともにおもい ともまなび ともそだつ」ことができる学校施設環境を整備するとともに、各設備の安全及び老朽化対策を逐次実施。</li> <li>・三郷小学校では、当初の建設時に比べ児童数が著しく減少しているため、余剰教室が増加しており、児童数に対して施設の規模が過大となっている。また、令和3年度に実施した老朽化診断調査より老朽化が顕著であり長寿命化や建替えの検討を要する。</li> <li>・三郷北小学校は、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した改修工事を実施。</li> <li>・両小学校とも、老朽化に伴う補修や日常使用する部分の修繕工事を実施。</li> <li>・南畑幼稚園では、気温や周辺植物による建物への影響により修繕工事を実施。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○各学校・園の施設整備状況（主な補修工事等、事業費200,000円以上）		
	【三郷小学校】		
	工事名称	事業費(円)	補助金等(円)
	プールの過装置修繕	223,168	0
	小学校遊具修繕	347,037	0
	小学校門扉取替工事	350,236	0
	合計	920,441	0
	【三郷北小学校】		
	工事名称	事業費(円)	補助金等(円)
	屋内消火栓設備修繕	209,517	0
6年1組前廊下雨漏り修繕	200,000	0	
プールの過器排水管取替修繕	205,700	0	
窓枠硝子押えシーリング修繕	715,000	0	
小学校遊具修繕	723,263	0	
校舎内壁等共用部改修工事	5,522,000	5,522,000	
小学校門扉取替工事	474,764	0	
合計	8,050,244	5,522,000	
【三郷中学校】			
※200,000円以上の補修工事等なし			
【南畑幼稚園】			
※200,000円以上の補修工事等なし			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷小学校では、排水の詰まりや空調設備、蓄電池システムなどの設備修繕をはじめ建具などの修繕を実施した。</li> <li>・三郷北小学校は、児童数が多く廊下を含めた共用部が密になりやすいことから、新型コロナウイルス感染症対策のため抗菌塗装を施工した。また、屋内消火栓設備の修繕や雨漏り修繕、経年劣化による窓ガラス押えのシーリング修繕工事も実施した。</li> <li>・各小学校で、安全対策用に設置されている門扉の経年劣化による取替や日常使用する遊具の修繕工事、プールのろ過器に関する設備工事改修工事を実施した。</li> <li>・三郷中学校においては、築4年を迎え大きな工事は発生していないが、新型コロナウイルス感染症対策のため通常よりも窓の開閉が多かった屋内練習場の窓の鍵穴が潰れたことにより鍵交換工事を実施した。</li> <li>・南畑幼稚園においては、施設工事等は発生していないが、老朽に伴う補修を逐次実施した。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【成果指標①】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
①学校、園改修等(三小耐力度調査含む)		補修・改修件数	件	45	45	R3 228,789,177
						R4 11,655,000

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①町立小学校校舎の経年による劣化等に対応するため、バリアフリー化も含めた改修及び補修の実施。</p> <p>②三郷小学校の児童数に対する施設規模適正化に向け、築後50年を迎え老朽化が顕著な校舎全体の更新や施設の複合化及び地域への開放等、さまざまな可能性を検討する必要がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①小・中学校の体育館は、避難所となっていることから避難所としての機能を満たすような空調機や発電機等の設置を検討する必要がある。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①三郷北小学校は、令和元年度より大規模改造工事を実施しており、第1期工事(エレベーター設置・外壁改修)は令和2年度に、第2期工事(校舎等・職員室増築)については令和3年度に竣工した。しかしながら、校舎内やインフラ等の老朽は進んでいる。今後も両小学校において経年劣化に伴う改修・補修の更なる増加が見込まれる。令和2年度には個別施設長寿命化計画を策定したが、今後、維持管理に係る費用が高むことは必至であり、国庫及び県の補助金を有効に活用しながら計画的に整備する必要がある。</p> <p>②令和3年度に三郷小学校の校舎の耐力度調査を実施した結果を可及的速やかに精査し、費用対効果も踏まえながら、エレベーターや学校施設規模及び「新しい時代の学び」にあった運用方法等も勘案し、早急に校舎の長寿命化もしくは建て替え等も含めた検討を要する。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①小・中学校の体育館は、避難所となっていることから、暑い時期や寒い時期にも対応できるように空調機の設置を検討する。また、小学校については、それに伴い建物の断熱性能の向上も検討する必要がある。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持が見直しを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷北小学校における大規模改造工事を令和3年度内に竣工したが、今後の維持管理や補修・整備について、一定の計画性を持って効果的な施設整備を進める。</li> <li>・令和2年度に策定した町立学校(園)の個別施設長寿命化計画に基づき、緊急性・優先性及び費用対効果を考慮した整備を進める。</li> <li>・障がいの有無にかかわらず、共に学ぶ場、そして「新しい時代の学び」を実現する多様な学びの場を整備し、医療的ケアの対応も含め、きめ細かな学校施設整備を行う。</li> <li>・すべての子どもたちの可能性を引き出せるよう、また、安全に健やかに学べる学校環境を作る。</li> <li>・三郷小学校の耐力度調査の結果を基に、校舎の長寿命化又は建て替え等を視野に入れた検討を進める。</li> </ul>

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	②教職員研修の充実	担当課名	教育総務課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県など関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施して実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得させる。また、県の研修に加え、生駒郡地教委主催で年2回研修会を実施する。</li> <li>・発達障がい等で特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が共同で研修会を実施する。</li> <li>・日々発展するICT教育機器の整備に即応するため、ICTを活用した指導方法の研修会を必要に応じ実施する。</li> </ul> <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会で行われる研修会に参加し、幼児教育の置かれている状況や課題を学ぶ機会を得る。【成果指標③】</li> <li>・保育内容について改善するポイントを見出し幼稚園教育の進むべき方向性を見出すことができるように、特別支援教育研修に参加し学ぶ機会を得る。</li> <li>・特別支援を必要とする幼児の対応については、令和4年度も引き続き一人ひとりの行動の意味を理解し、個に応じた支援方法や保育内容について学ぶことができるように作業療法士による巡回相談を実施する。</li> <li>・三郷町の実態や保護者対応について学ぶ機会や実践例、エピソードを持ち寄り、自らの保育内容や環境についてより深く見つめなおすことができる研修を実施する。</li> <li>・新任研修では、こども未来課内の教育コーディネーター・担当主幹を講師に招き、幼稚園教員としての根幹について具体的な講話を通しての研修を実施する。</li> </ul> <p>◎県実施研修への参加【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○小中学校</p> <p>【初任者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修対象者 4人</li> <li>①第1回生駒郡地教委主催初任者研修（参加者4人）  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;内容&gt; 平群町指導主事による教員としての心構えの講話。初任者が定年退職するまでの、それぞれのステージでの課題となすべき仕事の説明を聞いた。また、初任2年目の先輩の教員から経験した気づきと課題が提示され、内容を共有し研修を深めた。</li> </ul> </li> <li>②第2回生駒郡地教委主催初任者研修（参加者4人）  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;内容&gt; 授業力を向上させるための工夫等について自ら情報発信し今後の授業実践に生かす取組みを交流した。また、学力向上のためのグループ討議を行った。</li> </ul> </li> </ul> <p>【特別支援教育研修会】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止</p> <p>○幼稚園</p> <p>【生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;内容&gt; 各種部会研修（実践事例持ち寄り）特別支援教育部会（講演会）</li> <li>&lt;回数&gt; 全体研修：県3回 部会研修：（特別支援教育部会）郡3回（実践検討部会）郡3回（実践検討部会）郡4回</li> </ul> <p>【幼稚園教員研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新任研修（対象者1名）  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;内容&gt; 部講師による保育の組み立て方及び指導。</li> <li>&lt;回数&gt; 県年10回・園内年10回</li> </ul> </li> <li>②職員研修  <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;内容&gt; 研究テーマに迫る実践例やエピソードを持ち寄り、職員全員で意見を出し合う中で幼児の内面を探り、環境構成の充実を図るとともにわかりやすい表記の仕方について研修すした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三郷町の虐待の実態について」「保護者対応について」「学期ごとの振り返り」の研修を実施。</li> <li>・年間計画、積み上げていく活動内容について中身を点検・見直しを行い計画を立てた。</li> <li>・特別支援を必要とする幼児の行動の見方や実際の保育に生かせる指導方法を学んだ。</li> </ul> </li> <li>&lt;回数&gt; 月1～2回</li> </ul> </li> </ul> <p>◎県実施研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修への参加→生駒郡地教委研修参加人数：6人</li> <li>・教職経験に応じたステージ別研修及び職務や今日的課題等に対応した研修への参加 参加人数：28人（三郷小13人、北小10人、三郷中5人）</li> <li>・教育コーディネーター、担当主幹から幼児教育の基本や教員の心構えについて講話を受けた。</li> </ul>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒郡教委主催の初任者研修は、授業展開や教材・教具の工夫・ICT機器の活用、学級運営の仕方、児童生徒との接し方、保護者対応等の実践的なもので日常の教育活動に活かされている。また、各自の経験・実践の情報を発信し交流することで、自己の取組みを振り返る重要な機会を得た。 【成果指標①】</li> <li>・特別支援教育研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度は中止となった。 【成果指標②】</li> <li>・ステージ別研修には28人が受講し、講座数は延べ74講座であった。特別支援教育や教育相談、安全教育、健康教育等、各教職員の実践に応じた講座を自ら選択し、受講した。 【成果指標④】</li> <li>・ICT教育研修については、県主催のオンライン研修や各校において教職員が各種部会を作り、自主的に前向きな研修を開催し、ICTを活用した授業の積極的な運営に取り組んだ。 【成果指標⑤】</li> </ul> <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒郡幼児教育研究会、奈良県幼児教育研究会では、コロナ禍で例年の半数の研修会・オンライン研修であったが実践交流の場となった。また、現在の幼児教育の置かれている状況、課題を学ぶことができた。 【成果指標③】</li> <li>・幼稚園教員研修では幼児の内面や遊びの見取り方を学ぶことができた。また、自分の実践を理論立てて振り返ることを学び、幼稚園教育の大事さを感じる事ができた。特別支援教育では巡回相談の実施により支援を必要とする一人ひとりの幼児の行動の意味を理解し、個に応じた支援方法を学ぶことができた。</li> <li>・今年度はコロナ禍で幼児の実態については報告しあうことができたが、中学生の職業体験や小学校への体験入学など、予定していた事業が中止になるなど、保幼小中と連携の機会をもつことができなかった。</li> </ul> <p>○教員研修における人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自身の人権感覚・意識を高めるとともに、子どもたち一人ひとりを大切にする教育活動に役立てた。また、その他関係機関・団体の各種研修会にも参加した。</li> </ul>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
	①初任者研修		研修回数(町実施)	回	2	2
②特別支援教育研修会・第3ブロック研修会※R3, R4中止		参加人数	人	0	0	R3 R4
③生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会		研修回数	回	13	8	R3 R4
④ステージ別研修		参加人数(延べ人数)	人	41	74	R3 R4
⑤ICT教育研修		研修回数(1校あたり)	回	5	5	R3 R4

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①幼保小中連携については、それぞれの校種の違いによる教育内容や指導方法等、子どもたちが学校生活の変化に対応できるよう、各校種相互の現状理解と適切な指導が教員に求められる。</p> <p>②ICTを活用した小中一貫教育の導入に向けて、教員による電子黒板・一人一台端末(Chrome book)等の効果的な利用はもとより、子どもたち自らの機器の活用に係る適切な指導が教員に求められる。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①コロナ禍の中で、様々な教育活動が制約を受け、その影響が子どもたちの心の中に目に見えない形で入り込んでいる。アフターコロナの教育活動の深化(共同学習等)が望まれる。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①幼保小中教育の連携は、「新しい時代の学び」には必要不可欠である。この連携には行政も関わり、関係機関及び教員相互の情報共有及び意思疎通を図るため、一定の共通のゴールを見据え、校種を越えた研修や情報交換などの協議の場を通じて町ぐるみで子どもの段階的な成長をサポートできる体制を構築する。</p> <p>②授業におけるICT機器の効果的な活用については、そのスキル習得についても教員のやる気と主体性のもと、様々な場面におけるICTの活用が活発になってきている。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①コロナの位置づけが変わり教育活動もコロナ禍前に戻りつつあるが、コロナ禍の中で生まれた学習活動の課題を引きずっている。人と人とのつながりや共同学習が、よりよい形で再構築できるよう教育課程を再検討し教育目標達成のためにチーム一丸となって教育活動を展開していく。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に求められるニーズの多様化や変革期に相まって、コロナ禍を契機に学びのスタイルが大きく変容していく可能性が高い。このことから、福祉的かつ社会的な機能を有する学校の役割を再認識し、これまでのやり方に固執しない教育行政と教員の柔軟性も求められるため、広い視野と見識を得るための研修の実施及び自己研鑽に努める。</li> <li>・施設分離型の「小中一貫教育」の効率的かつスムーズな実施のため、学習面のみならず、子どもたちが健康に、有意義な学校生活を送るためにも、諸課題の解消と各校教員間の共通認識を深めることはもとより、幼保小中及び行政との連携を密に図り、研修や情報交換の場を積極的に設け、具体的な取組みを推進する。</li> <li>・幼稚園における教員の資質向上を図るため、各種研修への積極的な参加を促すと同時に研究テーマに沿った園内研修や保育内容を検討する機会を設けていく。また、特別支援教育の巡回相談や県の支援事業などを積極的に活用し、スキルアップを図る。</li> </ul>

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	③就学の支援	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれないよう、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎小中学校就学援助【国庫補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。</li> </ul> <p>○育英振興助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内在住の中学校卒業者で、経済的な理由で高等学校等への進学が困難な生徒に対し、新入学に際して要した経費の一部を助成する。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎小中学校就学援助【国庫補助】																													
	【要保護児童生徒就学援助費】																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者 (人)</th> <th>支給対象者 ※ (再掲・人)</th> <th>就学援助費 (円)</th> <th>国庫補助額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>19,832</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>15</td> <td>2</td> <td>126,946</td> <td>63,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>146,778</td> <td>73,000</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者 (人)	支給対象者 ※ (再掲・人)	就学援助費 (円)	国庫補助額 (円)	三郷小学校	9	1	19,832	10,000	三郷北小学校	0	0	0	0	三郷中学校	15	2	126,946	63,000	合計	24	3	146,778	73,000				
	学校名	認定者 (人)	支給対象者 ※ (再掲・人)	就学援助費 (円)	国庫補助額 (円)																									
	三郷小学校	9	1	19,832	10,000																									
	三郷北小学校	0	0	0	0																									
三郷中学校	15	2	126,946	63,000																										
合計	24	3	146,778	73,000																										
※令和4年度認定者全体のうち支給対象者は修学旅行費の支給対象者のみ																														
【準要保護児童生徒就学援助費】																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者 (人)</th> <th>就学援助費 (円)</th> <th>給食費 (円)</th> <th>援助費合計 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>70</td> <td>2,826,149</td> <td>1,548,772</td> <td>4,374,921</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>29</td> <td>1,046,458</td> <td>666,000</td> <td>1,712,458</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>59</td> <td>4,634,814</td> <td>1,422,680</td> <td>6,057,494</td> </tr> <tr> <td>町立学校以外</td> <td>2</td> <td>142,901</td> <td>0</td> <td>142,901</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>160</td> <td>8,650,322</td> <td>3,637,452</td> <td>12,287,774</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者 (人)	就学援助費 (円)	給食費 (円)	援助費合計 (円)	三郷小学校	70	2,826,149	1,548,772	4,374,921	三郷北小学校	29	1,046,458	666,000	1,712,458	三郷中学校	59	4,634,814	1,422,680	6,057,494	町立学校以外	2	142,901	0	142,901	合計	160	8,650,322	3,637,452	12,287,774
学校名	認定者 (人)	就学援助費 (円)	給食費 (円)	援助費合計 (円)																										
三郷小学校	70	2,826,149	1,548,772	4,374,921																										
三郷北小学校	29	1,046,458	666,000	1,712,458																										
三郷中学校	59	4,634,814	1,422,680	6,057,494																										
町立学校以外	2	142,901	0	142,901																										
合計	160	8,650,322	3,637,452	12,287,774																										
◎育英振興助成金																														
新入学に際して保護者等が負担した経費（授業料を除く。）のうち、学校区分に応じて、公立は3万円、私立は5万円を上限として助成金を支給。																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>認定者 (人)</th> <th>助成額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>16</td> <td>480,000</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>5</td> <td>250,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21</td> <td>730,000</td> </tr> </tbody> </table>	学校区分	認定者 (人)	助成額 (円)	公立	16	480,000	私立	5	250,000	合計	21	730,000																		
学校区分	認定者 (人)	助成額 (円)																												
公立	16	480,000																												
私立	5	250,000																												
合計	21	730,000																												

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の就学援助については、町立小・中学校合わせて全児童生徒1,629名中、認定者は182名となり、認定率が11.2%で前年度(認定率11.1%)と比較してほぼ横ばいであり、支給額については前年度に比して1,491,783円減となった。理由として、準要保護者への学校給食費については、従来就学援助より支給されているが、令和4年度は、物価高騰による保護者の経済負担を軽減するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業により学校給食費の無償化が実施されたことから、無償化期間中の学校給食費相当分の就学援助費の支給がなかったためである。また、町立学校以外に就学する生徒2名の認定を行った。<b>【成果指標①】</b></li> <li>育英振興助成金については、21名(公立16名・私立5名)の対象者に対し、制服等の高校等入学に要した費用の一部を助成した。対象者は前年度より4名増え、支給総額についても増となった。<b>【成果指標②】</b></li> </ul>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
	①小中学校就学援助		認定者数	人	184	184
認定率			%	11.1	11.2	R3 R4
②育英振興助成金		認定者数	人	17	21	R3 524,007 R4 730,000

③事業の課題	<p><b>【継続的な課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①町立以外の小中学校へ通う児童・生徒の保護者に就学援助制度について確実に周知する方法の検討が必要である。</li> <li>②新型コロナウイルス感染症による減収世帯への就学援助の申請勧奨を行えるよう、実態把握を行う。</li> </ul> <p><b>【新たな課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①就学援助は毎年申請が必要であり、また対象児童が複数いる場合には児童ごとに申請が必要であるため、申請者や申請窓口である学校に提出管理の負担がかかる点について、検討が必要である。</li> </ul>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p><b>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①就学援助の制度については、町ホームページに掲載及びFacebookで告知し、町立学校以外に通う児童生徒の世帯にも制度の周知に努めているが、申請件数は少ない状況である。</li> <li>②新型コロナウイルス感染症による就学援助の認定増加は見受けられず、コロナ禍の影響を受けている世帯の実態把握が困難である。</li> </ul> <p><b>【新たな課題に対する改善方法の検討】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①従来の紙媒体での申請に加えて県の電子申請システムを活用したオンライン申請を用いることで、パソコンやスマートフォンからの申請を可能にし、申請者と管理者の負担軽減につなげる。</li> </ul>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育英振興助成金制度の認知定着に向け、就学援助受給世帯等、あらかじめ制度の対象となることが判明している世帯に対して申請勧奨を行う等の学校からの個別対応やホームページの活用等により、その周知を更に徹底し、必要とする世帯に支援が行き渡るように努める。</li> <li>電子化して申請しやすい環境を整えるべく、選択式や記述式など質問内容に合わせて形式を適切に設定し、従来の申請と差異なく簡単に申請できるよう検討する。</li> <li>就学援助について、今後も引き続き、国の動向も踏まえ、実状に応じた就学援助の対象費目の充実を図る。</li> </ul>



# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	④特別支援教育の推進	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・学校教育において、特別な支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、子どもたちの持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、それぞれに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</li> </ul> <p>○教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の幼児を持つ保護者の不安や悩みに寄り添い、障がい等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を実施。</li> </ul> <p>○特別支援教育担当者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼・保・小・中学校の連携を強化し、情報共有や適切な就学指導方法を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。</li> </ul> <p>◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級在籍児童生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の所得額等の条件を付して、対象者に学用品費や学校給食費などの一部を援助する。 ※小中学校就学援助の認定者は支給対象外。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒は増加傾向にあり、個に応じたきめ細かな支援をするため、町費による講師を各学校に配置した。また、医療的ケアを要する児童に対応するため、三郷北小学校においては看護師(パートタイム)を配置した。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>【講師数】</th> <th>【特別学級支援員】</th> <th>【医療的ケア看護師数】</th> <th>【特別支援入級者数】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南畑幼稚園</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>9人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>0人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23人</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>145人</td> </tr> </tbody> </table>		【講師数】	【特別学級支援員】	【医療的ケア看護師数】	【特別支援入級者数】	南畑幼稚園	4人	0人	0人	9人	三郷小学校	6人	2人	0人	42人	三郷北小学校	9人	2人	2人	58人	三郷中学校	4人	2人	0人	36人	合計	23人	6人	2人	145人
		【講師数】	【特別学級支援員】	【医療的ケア看護師数】	【特別支援入級者数】																										
南畑幼稚園	4人	0人	0人	9人																											
三郷小学校	6人	2人	0人	42人																											
三郷北小学校	9人	2人	2人	58人																											
三郷中学校	4人	2人	0人	36人																											
合計	23人	6人	2人	145人																											
<p>○教育相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の幼児を持つ保護者を対象に、従前、生駒郡合同で行っていた教育相談を令和3年度より各町単独で実施することとなり、令和4年8月に三郷町文化センターにおいて実施した。</li> </ul> <p>【相談人数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>三郷小学校区</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校区</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特別支援教育担当者連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の充実を図るため、小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者間で情報交換と連携を図る場として平成21年度より設置している「特別支援教育担当者連絡会議」を年間4回開催した。(5月・6月・9月・12月開催)</li> </ul> <p>◎特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</p> <p>【就学奨励費認定者数】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度決算額：1, 946, 002円(補助額 946, 000円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>(内訳) 三郷小学校</td> <td>483, 946円(補助額 235, 000円)</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>903, 996円(補助額 437, 000円)</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>558, 060円(補助額 274, 000円)</td> </tr> </tbody> </table>	三郷小学校区	20人	三郷北小学校区	19人	合計	39人	三郷小学校	16人	三郷北小学校	33人	三郷中学校	13人	合計	62人	(内訳) 三郷小学校	483, 946円(補助額 235, 000円)	三郷北小学校	903, 996円(補助額 437, 000円)	三郷中学校	558, 060円(補助額 274, 000円)											
三郷小学校区	20人																														
三郷北小学校区	19人																														
合計	39人																														
三郷小学校	16人																														
三郷北小学校	33人																														
三郷中学校	13人																														
合計	62人																														
(内訳) 三郷小学校	483, 946円(補助額 235, 000円)																														
三郷北小学校	903, 996円(補助額 437, 000円)																														
三郷中学校	558, 060円(補助額 274, 000円)																														

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は年々増加傾向にあることから、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置。令和4年度は、三郷小学校にフルタイム6人、三郷北小学校にフルタイム7人、パートタイム2名、三郷中学校にフルタイム4人、南畑幼稚園にはフルタイム4人(各クラスに1名)の計23人を配置し、医療的ケア児の対応に、三郷北小学校2人の看護師(パートタイム)を配置した。年々各教室における特別な支援を必要とする児童・生徒の割合が増加しているため、令和4年度より教員免許所持の必要のない非常勤の特別支援教育支援員を各校2名ずつに配置した。【成果指標①】</li> <li>・就学前教育相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、事務局と小学校の特別支援担当の教員が対応し、保護者の悩みや家庭や園での生活の様子等幼児の特性・現状の把握をし、就学先における希望や不安等について相談に応じた。令和4年度の相談件数も40件近くとなり、年々増加傾向にある。なお、相談内容としては、特別支援学級入級に係る相談や質問等が多かった。【成果指標②】</li> <li>◎小中学校における特別支援教育就学奨励費の給付認定者は、特別支援学級入級児童生徒数136名中62名(就学援助認定者の28名を除く。)と前年度に比べ5名増えているものの、特別支援学級入級者総数に対する給付認定者の率は、46%と年々減少傾向にある。これは、特別支援教育就学奨励費を申請する際に所得要件は厳しいものの、より手厚い補助のある就学援助についても申請勧奨を行ったことで、昨年度まで特別支援教育就学奨励費を受診していた家庭が就学援助対象に移行したためと考えられる。【成果指標③】</li> </ul>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)	
	①特別支援教育の推進		配置講師数	人	19	23	R3
特別支援教育支援員			人		6	R4	56,234,635
配置看護師数			人	3	2	R3	2,483,359
②教育相談		相談人数	人	36	39	R4	2,975,409
						R3	3,041,335
③特別支援教育就学奨励費		認定者数	人	57	62	R3	2,346,819
						R4	1,946,002

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①年々、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が増加しているとともに、個別の教育的ニーズも多様化している。また、授業内容や子どもたちの体調等により、別室における適切な支援が必要となるケースが増えてきていることから、意図的・計画的な個別の対応方法を検討する必要がある。</li> <li>②就学前教育相談については、年々件数が増加しており、1日で全員実施することが難しくなっている。相談体制の検討が必要である。</li> <li>③令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行されたことに伴い、医療的ケア児又は重度障がい有する児童生徒が町立学校への入学を希望するケースは今後増加することが考えられることから、医療的ケアの充実等、町立学校(園)における特別支援体制の更なる拡充が必須である。</li> </ul>
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①特別支援教育就学奨励費を申請するにあたり、現在は学校を通じて書面のみで受け付けており、学校長に特別支援学級への在籍を証明をもらう必要があるため、保護者だけでなく教員の負担も大きい。</li> </ul>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①重層的支援も視野に置き、教育と福祉など行政分野を越えた切れ目ない連携を一層推進することにより、個に応じた指導や支援を行う体制を構築するため、教員の配置に加え引き続き特別教育支援員の雇用することで、子ども達に充実した学びの場を確保したい。</li> <li>②就学前教育相談については、年々件数が増加しており、令和3年度から各町において教育相談を実施したことにより、きめ細かな対応と効率化が図れた。</li> <li>③児童生徒個々の状況に応じた適切な対応と本来あるべき支援の方法について、関係各機関と連携し最善の支援のあり方を検討する。また、入学前から対象児の状態を可能な限り早期に把握するよう努めると共に、その教育のハード・ソフト両面において、国庫及び県補助金等を最大限に活用した環境整備を前向きに検討。医療サイドから対応する看護師はもちろん、すべての教員が教育的支援ができるよう、そのスキルアップを図るため、研修機会等を積極的に活用する。</li> </ul>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①特別支援学級への在籍は町教委でも確認が可能なことから、学校長の証明を省くと共に書面申請以外にも電子申請による受付を開始することにより、保護者と教員の両方への負担軽減へ繋げたい。</li> </ul>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期からのケアやその経過や状態把握も重要であることから、乳幼児・児童・生徒及びその保護者等のニーズはもとより、個々の状況、また、その年齢に応じた正しい対応ができる総合的なサポート体制を構築すべく、関係部署及び各機関の連携強化を図り、学校現場においても講師の配置に限らず、特別支援員の配置を計画的に進める。</li> <li>・障がいの有無やその状況に関わらず、町立学校に入学することを希望するすべての子どもたちが共に学び、共に育つことができるよう、ハード・ソフト両面での体制整備を進める。</li> <li>・令和3年9月に施行された医療的ケア児支援法に則り、今後もすべての子どもたちが快適かつ健康に学校生活を送るために必要な学校環境整備を図る。</li> </ul>		

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑤情報・国際教育の推進	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内におけるLAN整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。</li> <li>・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実に図ります。</li> <li>・義務教育9年間の教育における系統性を確保することにより、学びの意欲の向上と学校段階間の円滑な接続を確保するため、ICTを活用した「施設分離型」の小中一貫教育を進めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内LAN・教育用コンピュータ・校務支援システムの整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に導入した一人一台の情報端末について、学校内での利用率も増加しているため、令和3年度に引き続き令和4年度においても、家庭への持ち帰りを実施する。</li> <li>・三郷中学校では、学習室登校の生徒及び不登校生徒に対し、高校受験等を控える生徒の学力保障のためにも、授業映像をリアルタイムでオンライン配信を行う。</li> <li>・平成30年度に整備した教育ネットワークの契約期間が令和5年度までとなっていることから、次の5年間を見据えたネットワーク構成を検討する。</li> </ul> </li> <li>○ALT (Assistant of Language Teacherの略。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手) 派遣                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きた外国語の学習や異文化に対する理解を養うため、各小中学校へALTの派遣を行う。</li> <li>・幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、南畑幼稚園及び西部保育園におけるALTとの交流会を行う。</li> </ul> </li> <li>○ICTを活用した小中一貫教育導入                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校間又は小中学校間の遠隔授業や中学校体験入学のオンライン実施等、各種授業や行事において児童生徒間及び教員間の交流を促進する。</li> </ul> </li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○ICT機器等整備状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="3">設置台数 R5.3.31現在</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>三郷小学校</th> <th>三郷北小学校</th> <th>三郷中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報端末(Windows)</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>※教員1人1台</td> </tr> <tr> <td>情報端末(Chromebook)</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>75</td> <td>※教員用</td> </tr> <tr> <td>情報端末(Chromebook)</td> <td>460</td> <td>730</td> <td>535</td> <td>1,725</td> <td>※児童生徒1人1台</td> </tr> <tr> <td>電子黒板</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>77</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書画カメラ</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>77</td> <td></td> </tr> <tr> <td>校務用PC(ノート)</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>※教員1人1台</td> </tr> <tr> <td>学習用PC(デスクトップ)</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>115</td> <td></td> </tr> <tr> <td>校務系・学習系サーバ</td> <td colspan="3">各1×2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・一人一台端末の活用頻度については、飛躍的な向上が見られた。また、教職員及び児童生徒共に Chrome OS 搭載の情報端末の活用についても上手く順応しており、教職員はアプリケーションの選定や授業での活用について、多様な特性を持つ児童生徒一人ひとりの個の特性に応じた学習ができるよう創意工夫を凝らしていた。</p> <p>○ICT支援員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のICTスキルについて、一定の向上がみられることに加え、GIGAスクール構想以降、奈良県ではGIGAヘルプデスクサービスが常設されていることから、ICT支援員の派遣については廃止した。</li> </ul> <p>○ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度より各小学校及び中学校に1校1名ずつALTを配置。併せて、町立幼稚園・保育園にも三郷小学校のALTを派遣し、英語学習や異文化理解等の活動を実施。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="2">クラス数&lt;A&gt;</th> <th colspan="2">授業時間</th> <th rowspan="2">合計授業数(時間)&lt;A&gt;×&lt;B&gt;</th> </tr> <tr> <th>三小</th> <th>北小</th> <th>年間授業数(時間)&lt;B&gt;</th> <th>年間授業数(時間)&lt;B&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中学校</td> <td>学年</td> <td colspan="2">三中</td> <td colspan="2"></td> <td rowspan="4">560</td> </tr> <tr> <td>1年生</td> <td colspan="2">5</td> <td colspan="2">35</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td colspan="2">6</td> <td colspan="2">35</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td colspan="2">5</td> <td colspan="2">35</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">小学校</td> <td>学年</td> <td>三小</td> <td>北小</td> <td colspan="2">年間授業数(時間)&lt;B&gt;</td> <td rowspan="5">1,365</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>2</td> <td>4</td> <td colspan="2">各35</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>3</td> <td>4</td> <td colspan="2">各35</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>2</td> <td>4</td> <td colspan="2">各70</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>3</td> <td>4</td> <td colspan="2">各70</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">幼稚園・保育園</td> <td>年齢</td> <td>南畑</td> <td>西部</td> <td colspan="2">年間授業数(時間)&lt;B&gt;</td> <td rowspan="3">33</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>1</td> <td>1</td> <td colspan="2">6 3</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>1</td> <td>1</td> <td colspan="2">12 12</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">合計</td> <td colspan="2"></td> <td>1,958</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ICTを活用した小中一貫教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「施設分離型」の小中一貫教育を導入していることから、前年度に引き続きICTを活用した遠隔授業を実施。小学区間の地域学習を通じて相互の校区紹介や共同の総合学習、小学校児童を対象とした中学校ALTによる英語授業を実施した。また令和4年度には、夏季休業期間中の課題として児童生徒がそれぞれ考えたSDGs 標語の優秀作品表彰式を学校ごとに行うのではなく、オンラインで実施することにより他校の児童生徒が同じ課題に取り組んだ成果を全児童生徒で表彰することができた。</li> </ul>	種類	設置台数 R5.3.31現在			計		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	情報端末(Windows)	50	50	50	150	※教員1人1台	情報端末(Chromebook)	20	25	30	75	※教員用	情報端末(Chromebook)	460	730	535	1,725	※児童生徒1人1台	電子黒板	25	29	23	77		書画カメラ	25	29	23	77		校務用PC(ノート)	50	50	50	150	※教員1人1台	学習用PC(デスクトップ)	35	38	42	115		校務系・学習系サーバ	各1×2			2			対象	クラス数<A>		授業時間		合計授業数(時間)<A>×<B>	三小	北小	年間授業数(時間)<B>	年間授業数(時間)<B>	中学校	学年	三中				560	1年生	5		35		2年生	6		35		3年生	5		35		小学校	学年	三小	北小	年間授業数(時間)<B>		1,365	3年生	2	4	各35		4年生	3	4	各35		5年生	2	4	各70		6年生	3	4	各70		幼稚園・保育園	年齢	南畑	西部	年間授業数(時間)<B>		33	4歳児	1	1	6 3		5歳児	1	1	12 12				合計				1,958
種類	設置台数 R5.3.31現在			計																																																																																																																																										
	三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校																																																																																																																																											
情報端末(Windows)	50	50	50	150	※教員1人1台																																																																																																																																									
情報端末(Chromebook)	20	25	30	75	※教員用																																																																																																																																									
情報端末(Chromebook)	460	730	535	1,725	※児童生徒1人1台																																																																																																																																									
電子黒板	25	29	23	77																																																																																																																																										
書画カメラ	25	29	23	77																																																																																																																																										
校務用PC(ノート)	50	50	50	150	※教員1人1台																																																																																																																																									
学習用PC(デスクトップ)	35	38	42	115																																																																																																																																										
校務系・学習系サーバ	各1×2			2																																																																																																																																										
	対象	クラス数<A>		授業時間		合計授業数(時間)<A>×<B>																																																																																																																																								
		三小	北小	年間授業数(時間)<B>	年間授業数(時間)<B>																																																																																																																																									
中学校	学年	三中				560																																																																																																																																								
	1年生	5		35																																																																																																																																										
	2年生	6		35																																																																																																																																										
	3年生	5		35																																																																																																																																										
小学校	学年	三小	北小	年間授業数(時間)<B>		1,365																																																																																																																																								
	3年生	2	4	各35																																																																																																																																										
	4年生	3	4	各35																																																																																																																																										
	5年生	2	4	各70																																																																																																																																										
	6年生	3	4	各70																																																																																																																																										
幼稚園・保育園	年齢	南畑	西部	年間授業数(時間)<B>		33																																																																																																																																								
	4歳児	1	1	6 3																																																																																																																																										
	5歳児	1	1	12 12																																																																																																																																										
		合計				1,958																																																																																																																																								

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○ICT機器等の整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育機関向けに開発され操作方法が簡略化された情報端末(Chromebook)の導入により、授業中における児童生徒に対する操作説明時間を大幅に削減することができ、学校内での活用頻度は飛躍的に増加した。情報端末(Chromebook)の活用が始まり2年近くが経過し、教職員及び児童生徒は、これまでのWindowsOSからChromeOSへの変更に柔軟に適応できている。全てのアプリケーション等をクラウドベースで稼働させるChromebookは、活用できるアプリケーションの数も大幅に増加することから、教職員は授業においてより効果的に活用でき、また、児童生徒の個々の特性に応じた学習活動ができるアプリケーションの選定に注力することができた。【成果指標①】</li> </ul> <p>○ICT教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本町では平成28年度よりICT機器の導入を進めたことから、各校では、ICT教育に係る専門部会等が立ち上がっており、教職員のICT機器活用能力について大きく向上したことが見て取れる。また、奈良県では、県内教職員がICT教育に関する困りごとを相談できるGIGAヘルプデスクサービスが常設されており、県内の活用事例等が共有されていることから、令和4年度よりICT支援員の派遣を停止した。【成果指標②】</li> </ul> <p>○ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度より新学習指導要領が適用された小学校において、5・6年生は年間70時間、3・4年生は年間35時間の授業時間を確保できるよう令和3年度に引き続き外国人講師の派遣を行った。また、授業時間外においても外国人講師に英語で話しかける児童生徒の姿も見られることから、英語や外国人が児童生徒の生活の中に馴染んでいる。また、小中一貫教育による中学校ALTの小学校に対するオンライン授業も中学校ALTと小学校児童とのコミュニケーションに大きく役立っている。</li> <li>令和2年度より、町立幼稚園だけでなく町立保育園へも外国人講師の派遣を行い、幼少期から多言語や異文化に慣れ親しむことができるよう異文化交流を行った。授業時数の減少については、学級数の減少によるものである。【成果指標③】</li> </ul> <p>○ICTを活用した小中一貫教育導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍を契機に学びのスタイルの大きな変容とともに加速するICT整備に併せて、本町の小中一貫教育に欠かせない「遠隔授業」の実施もスムーズに進み、子どもたちや教員にとって新しい授業スタイルが定着しつつある。また、中学校では、不登校生徒や学習室登校の生徒に対し、授業中の教室をリアルタイムによるオンライン配信を行い、SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない」教育に積極的に取り組んだ。</li> </ul>

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
	①ICT教育の推進		ICT機器新規導入数 小中学校合計	台	121	0
②ICT支援員		派遣日数	日	144	0	R 3 3,960,000 R 4 0
③ALT派遣		ALTによる授業時間 各校(園)合計	時間	2,046	1,958	R 3 12,136,575 R 4 11,955,471

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①デジタルならではの学びを実現させるため、国が推奨するMEXCBT(メクビット※文科省が開発したオンライン学習システム)への対応を検討していく必要がある。</p> <p>②令和5年度末には既存ネットワーク環境のリプレースとなるため、新たなネットワーク構成及びその費用について準備していく必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①令和2年度に導入した奈良県域統合型校務支援システムのリプレースが次年度に迫っているため、5年間活用した感想を県教育委員会へ伝える必要がある。</p> <p>②小中一貫教育に係る取り組みについて、より発展的で継続可能な取り組みを引き続き検討する必要がある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①一部学校で既にメクビットの活用をスタートしており、今後、国の動向を注視しながら業者と情報共有を図る。</p> <p>②次の5年を見据えた構成を検討する必要があるため、セミナーや展示会等における情報収集を行う。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①5年間の活用を経ての良かった点や改善を要する点を教職員からヒアリングし、県主催の校務支援システム検討会議等で発信する。</p> <p>②各校の教職員と打ち合わせを重ね、他校の異学年の児童生徒と学年を跨ぐ交流の機会を増やせるよう検討する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校におけるネットワーク環境の更新について、新時代の学びを支えるICT教育の興津的な活用を見据えたネットワーク構成を検討する。</li> <li>文部科学省では、ICTを活用した教育改革を様々な形で推進しているため、国の動向に注視しながら本町に応じた実施方法を適宜検討する。</li> </ul>

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑥いじめ・不登校の対策	担当課名	教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関によるメンタルヘルス相談や中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校児童生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。</li> <li>・教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>いじめ・不登校対策として、奈良県が実施するスクールカウンセラー事業を活用しながら、町独自で「心の相談員」を配置するとともに、専門機関にメンタルヘルス相談業務を委託する等、児童生徒の悩みに対して適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう相談体制の充実を図る。</p> <p>○スクールカウンセラー活用事業【県費】 いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを三郷北小学校及び三郷中学校に配置する。</p> <p>○心の相談員 生徒の悩み・不安・ストレスに対し、カウンセリングできる「心の相談員」を三郷中学校に配置する。</p> <p>○メンタルヘルス相談 幼児、児童及び生徒とその保護者や教員等も含め、メンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健やかな心身の保持増進に努める。</p> <p>○スクールソーシャルワーカー活用事業【県費】 スクールソーシャルワーカーのアセスメントを通し、教職員がいじめや不登校などの学校の課題を整理し、早期解決・未然防止・予防に取り組む学校体制の構築を目指すため、スクールソーシャルワーカーを三郷北小学校に配置し、三郷小学校や三郷中学校でも活用する。</p> <p>○不登校対策連絡会 町立の小中学校における不登校問題を総合的に検討し、不登校の防止及び登校を促す指導に努め、児童及び生徒の健やかな育成を推進する。</p> <p>○生活に関するアンケート 町立小学校6年生児童を対象に学校やご家庭での生活の中で抱える悩みや困りごとに関するアンケートを実施し、支援策の検討を行う。</p>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○スクールカウンセラー活用事業【県費】 ・三郷北小学校・三郷中学校へ各1名配置 年間勤務日数 31日（三郷北小学校12日 三郷中学校19日） 相談ケース数 ①児童生徒： 25回 ②保護者： 46回 ③教職員： 80回 合計： 151回 主な相談内容 不登校への対応、学校生活、友人関係など ※児童生徒へのカウンセリング・スクリーニング会議のほか、教職員などへの助言。</p> <p>○心の相談員 ・三郷中学校へ1名配置 年間勤務日数 79日 相談ケース数 398回 主な相談内容 不登校問題、学校生活全般、本人に関わる問題など</p> <p>○メンタルヘルス相談 ・園児、児童生徒、保護者及び教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに相談業務を委託し、専門機関による相談を実施。 相談ケース数 ①園児児童生徒： 22回 ②保護者： 38回 ③教職員： 60回 合計： 120回 ※延べ回数で計上。</p> <p>○スクールソーシャルワーカー活用事業【県費】 ・三郷北小学校に1名配置 年間勤務日数 24回（三郷北小学校12日、三郷小学校11日、三郷中学校1日） 主な相談内容 いじめ・不登校問題、家庭状況、本人に関わる問題など ※心と生活等に関するアンケートに関わるスクリーニング会議、教職員への助言</p> <p>○不登校対策連絡会 ・不登校の児童生徒の実態把握と情報の共有、その後の現況報告並びに対応について協議・検討を行った。 年間開催回数 12回</p> <p>○不登校を語る保護者の集い（ブリーズ） ・令和4年度は生駒郡教育長会の事業として2回予定し、1回実施。1回は警報のため緊急で中止。天理大学大学院教授から、保護者に様々な助言がなされた。 主な内容 ・不登校児童の保護者の交流及び悩みの共有。 ・不登校児童の保護者へのアドバイス。 参加人数 保護者9人、教員1人 ※延べ人数</p> <p>○生活に関するアンケート 町立小学校6年生を対象に、町独自で生活に関するアンケートを実施した。 結果、家族の介護や世話等の理由で学校生活に困難さを感じている児童に対して学級担任等による面談を行い、実態を把握した。 面談実施件数 5件</p>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○いじめや不登校等、児童生徒の抱える問題に対して、一人ひとりの状況に応じた相談を実施。</p> <p>①専門的なスクールカウンセラーの配置 →前年度に比して相談回数が大幅に増加。これは、コロナ禍で児童生徒や保護者の相談ニーズが高くなっているため、学校から保護者へスクールカウンセラーの利用に関する周知を積極的に行ったことによるものと考えられる。また、中学校において不登校生徒の相談もスクールカウンセラーが担っており、別室登校の生徒に対して継続的に相談支援が行われている。【成果指標①】</p> <p>②生徒の悩みを気軽に相談できる「心の相談員」の配置 →相談件数は横ばいであるが、依然多くの相談が寄せられている。心の相談員もスクールカウンセラー同様、別室登校の生徒への相談支援を行っているが、毎週定期的に配置されていることから、教職員へのコンサルテーションが多く行われている傾向にある。また、本事業が長年継続的に実施されてきたことにより、教職員が教育現場での様々なケースに関する助言を心の相談員に求めやすい環境が定着してきていることによるものと思われる。【成果指標②】</p> <p>③専門機関によるメンタルヘルス相談業務（ハートランドしぎさん） →県からのスクールカウンセラーの配置が少ない小学校においては、メンタルヘルス相談事業によりハートランドしぎさんの臨床心理士による巡回相談を行っている。巡回相談の中で、保護者からの相談のほか、メンタルケアが必要な児童生徒への継続支援も行っている。【成果指標③】</p> <p>④専門的なスクールソーシャルワーカーの配置 →教職員が様々なケースに関して、児童生徒や保護者への支援方法の助言を受け、関係機関との連携を密に取ることで、学校がチームで支援体制を取り課題解決に向けて取り組むことができた。【成果指標④】</p> <p>⑤不登校対策 ・不登校児童生徒数は大幅に増加している。コロナ禍以降、不登校の主要因として、小・中学校ともに報告されているのが「不安」である。このことから、何か特定の要因により学校に行けないというより、自身でも原因がわからず、漠然とした不安等により学校に行けない状況が続いている児童生徒が多い。さらに、新型コロナウイルス感染症に関わる欠席者の増加により、教室で誰かが欠席している状況が常態化し、欠席に対する敷居が低くなったことも要因と考えられる。こうした児童生徒への支援は勿論だが、その保護者等への支援が必要なケースも多い。 ・不登校対策指導主事を配置し、不登校児童生徒のみならず、別室登校の児童生徒への支援もきめ細かに実施しており、不登校からほぼ毎日別室登校できるようになったケースもある。【成果指標⑤】</p> <p>○生活に関するアンケートで家族の介護や世話に負担を感じていると回答した児童に面談を行った。結果、回答誤りが多く、学業に支障をきたす程の負担とみなせる者はなかったが、学校で見守りを続ける。</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
	①スクールカウンセラー（県費）	相談回数	回	47	151	R 3 R 4
②心の相談員（町費）	相談回数	回	406	398	R 3 R 4	1,563,268 1,523,552
③メンタルヘルス相談	相談回数	回	109	120	R 3 R 4	580,600 580,600
④スクールソーシャルワーカー（県費）	相談回数	回		21	R 3 R 4	
⑤不登校対策	不登校児童生徒数	人	28	42	R 3 R 4	3,545,022 4,680,060

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①不登校児童生徒数に対し、「不登校を語る保護者の集い」の参加者数が少なく、不登校児童生徒の保護者が孤立化している可能性がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①新型コロナウイルス感染症に感染したり濃厚接触者になったりして欠席をする児童生徒が増え、欠席する児童生徒がいることがあたりまえな日常になった。それに伴い、漠然とした不安を抱える児童生徒が増え不登校につながっている。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①「不登校を語る保護者の集い」のほか、保護者が悩みを相談しあえるような居場所づくりを検討する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①学校に登校しにくく、欠席しがちであったり、教室以外の場所であれば登校できる小学生に、三郷中学校で開設している学習室のような校内フリースクールを開設し、登校につないでいく。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・相談支援体制を両立し、相談機会を逸することのない体制づくりを検討する。 ・幼少期からのケアは重要であり、様々なケースに対応するため、保・幼・小・中及び関係部署や各機関との情報共有をはじめ、更なる連携強化を図る。</p>		

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑦地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課 生涯学習課	教育大綱	I「子育てなら三郷町」 II「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。</li> <li>・まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。</li> <li>・学校の環境美化や緑化推進活動などについて、各種団体や地域ボランティアの参加協力を得られるように体制の構築を図ります。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎子ども人権学習支援事業(放課後子ども教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後の居場所づくり及び子どもの様々な活動を支援する事業を実施し、地域ぐるみで教育活動の推進を図る。</li> <li>・各小中学校において、地域指導員の指導のもと、和太鼓、手話コーラス、ゲートボールなど様々な体験活動を展開する。</li> </ul> <p>◎小中一貫コミュニティ・スクール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクールを設立し、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、地域から学校が必要とする活動に関わるボランティアを募り、学校における環境整備や教育活動の支援の更なる充実を図る。</li> </ul> <p>◎学習支援塾(地域未来塾)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学3年生を対象に、地域人材、教職員及び教育委員会が一体となり、放課後を活用した学習支援を行うと共に、進路選択、友人関係及び家庭環境に不安や悩みを抱える生徒の放課後の居場所づくりの一端を担う。</li> </ul> <p>☆上記3事業が県補助事業(学校・地域パートナーシップ事業)の対象であることから、本補助制度を活用し、本町独自の各種事業を継続的に実施。</p>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども人権学習支援事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動名称</th> <th>学校名</th> <th>登録人数</th> <th>実施回数</th> <th>活動内容</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どんどん和太鼓</td> <td>三郷中学校</td> <td>5人</td> <td>20回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>さんごうde学び隊</td> <td>三郷中学校</td> <td>9人</td> <td>12回</td> <td>科学分野の課題研究、研究発表</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>多聞クラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>0人</td> <td>0回</td> <td>ゲートボール体験</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>ふれあいクラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>20人</td> <td>14回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>親子で遊び隊</td> <td rowspan="2">三郷小学校</td> <td>8人</td> <td>1回</td> <td>デイキャンプ</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13人</td> <td>1回</td> <td>大和川水生物調査</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>にこやかクラブ</td> <td>三郷北小学校</td> <td>12人</td> <td>10回</td> <td>手話コーラス</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>つながり学級</td> <td>三郷北小学校</td> <td>29人</td> <td>5回</td> <td>整ススポーツ、ものづくり、絵本読み聞かせ等</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和元年度より休講していたが、令和4年度は3年ぶりに講座を開講することができた。3年のブランクの為、経験者が減ってしまったためか、応募者数が少なくなった講座もあった。</p>	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課	どんどん和太鼓	三郷中学校	5人	20回	和太鼓の演奏	生涯学習課	さんごうde学び隊	三郷中学校	9人	12回	科学分野の課題研究、研究発表	教育総務課	多聞クラブ	三郷小学校	0人	0回	ゲートボール体験	教育総務課	ふれあいクラブ	三郷小学校	20人	14回	和太鼓の演奏	教育総務課	親子で遊び隊	三郷小学校	8人	1回	デイキャンプ	教育総務課		13人	1回	大和川水生物調査	教育総務課		にこやかクラブ	三郷北小学校	12人	10回	手話コーラス	教育総務課		つながり学級	三郷北小学校	29人	5回	整ススポーツ、ものづくり、絵本読み聞かせ等	生涯学習課
	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課																																																			
	どんどん和太鼓	三郷中学校	5人	20回	和太鼓の演奏	生涯学習課																																																			
	さんごうde学び隊	三郷中学校	9人	12回	科学分野の課題研究、研究発表	教育総務課																																																			
多聞クラブ	三郷小学校	0人	0回	ゲートボール体験	教育総務課																																																				
ふれあいクラブ	三郷小学校	20人	14回	和太鼓の演奏	教育総務課																																																				
親子で遊び隊	三郷小学校	8人	1回	デイキャンプ	教育総務課																																																				
		13人	1回	大和川水生物調査	教育総務課																																																				
	にこやかクラブ	三郷北小学校	12人	10回	手話コーラス	教育総務課																																																			
	つながり学級	三郷北小学校	29人	5回	整ススポーツ、ものづくり、絵本読み聞かせ等	生涯学習課																																																			
◎小中一貫コミュニティ・スクール	<p>&lt;主な活動実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>緑化推進活動、花壇整備、菊栽培、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車(多聞号)清掃、卒業式での汽笛鳴らし、卓球クラブ補助、プール授業の見守り、昔あそびなど</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、レンゲ栽培、交通安全教室補助、防災訓練補助、校区探検、生き物探検、観察池清掃、収穫体験補助(ブルーベリー、ピワ)、甲虫の幼虫飼育、プール授業の見守り、昔あそびなど</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>家庭科実習(被服)支援など</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度より導入した小中一貫コミュニティ・スクールにおいて、運営委員会を2回開催し、学校運営協議会代表、ボランティアコーディネーター、校長、園長や教育委員会で意見交換をし、目標を共有して、活動に臨んだ。また、コミュニティ・スクールを具現化する取り組みとして「SDGs ひまわり畑プロジェクト」を立ち上げ、ボランティアが耕した畑に、子供たちと地域住民、学校の三者で種まきから水やり等の日常の手入れ、種の収穫までを行うことで、町内2箇所にひまわり畑を実現することができた。令和4年度は屋外での活動を中心としつつ、新型コロナウイルス感染対策を実施することで昔あそびなど屋内活動も一部実施した。</p> <p>&lt;学校支援ボランティア登録人数&gt; 計：288人(前年度比20人増)</p>	学校名	活動内容	三郷小学校	緑化推進活動、花壇整備、菊栽培、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車(多聞号)清掃、卒業式での汽笛鳴らし、卓球クラブ補助、プール授業の見守り、昔あそびなど	三郷北小学校	緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、レンゲ栽培、交通安全教室補助、防災訓練補助、校区探検、生き物探検、観察池清掃、収穫体験補助(ブルーベリー、ピワ)、甲虫の幼虫飼育、プール授業の見守り、昔あそびなど	三郷中学校	家庭科実習(被服)支援など																																																
学校名	活動内容																																																								
三郷小学校	緑化推進活動、花壇整備、菊栽培、朝の登校見守り、図書支援、新1年生の下校安全見守り、さつま芋栽培、機関車(多聞号)清掃、卒業式での汽笛鳴らし、卓球クラブ補助、プール授業の見守り、昔あそびなど																																																								
三郷北小学校	緑化推進活動、花壇整備、わくわく農園、図書支援、田植え・稲刈り体験補助、レンゲ栽培、交通安全教室補助、防災訓練補助、校区探検、生き物探検、観察池清掃、収穫体験補助(ブルーベリー、ピワ)、甲虫の幼虫飼育、プール授業の見守り、昔あそびなど																																																								
三郷中学校	家庭科実習(被服)支援など																																																								
◎学習支援塾	<p>&lt;主な活動実績&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>31</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>登録生徒数</td> <td>51</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開催回数については、新型コロナウイルス感染症の感染対策をしながら、一昨年度と同回数実施した。 ※登録生徒数は、前年度に比べると減少しているが、開講当初より回を重ねるにつれて登録数は増加している。</p>		令和3年度	令和4年度	開催回数	31	41	登録生徒数	51	48																																															
	令和3年度	令和4年度																																																							
開催回数	31	41																																																							
登録生徒数	51	48																																																							

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方や各種団体の指導の下、世代間の交流を図り、子ども達が日頃経験できない様々な活動を通して仲間とともに協力することの大切さや目標を達成する喜びを学ぶことのできる事業である。新型コロナウイルス感染症拡大のため令和1～3年度は実施できなかったが、令和4年度においては、活動することができた。【成果指標①】</li> <li>・多聞クラブにてゲートボールを実施予定であったが、参加希望者が集まらず、開講できなかった。</li> </ul> <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度のボランティア参加延べ人数は前年度より289名減少している。前年度と比較して、活動内容・各参加人数について大きな変化はない。しかし、これまでボランティアに参加していた方の中で高齢化による健康問題や家庭事情を理由に各活動に参加できない事象が各校で発生しており、参加者延べ人数減少の要因となっていると考えられる。</li> <li>・ボランティアの新規登録者数は前年度に比べ20名増えた。</li> <li>・小中一貫コミュニティ・スクール「SDGsひまわり畑プロジェクト」を地域・保護者・学校・行政が協力し、「地域で子どもたちを守り、育てる」協働活動のシンボルとしてスタートを切ることができた。【成果指標②】</li> <li>・「三郷中学校SDGsフェス」で夜間の一般開放を実施し、地域住民に学校について知ってもらう機会となった。【成果指標②】</li> </ul> <p>◎学習支援塾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密を避け複数の部屋を開放する「部屋割り」を実施した。登録者は、6月開講当初30名余りでスタートしたが、徐々に増え二期には48名となった。毎回20名程度が出席し、各自が目標に向かってよく努力していた。講師の先生も毎回5～10名の協力があり、学習支援だけでなく個々の生徒と関係の深まりなど、充実した活動となった。新型コロナウイルス感染の流行や警報発令による中止もなく予定通り41回実施できた。【成果指標③】</li> </ul>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)	
	①子ども人権学習支援事業		参加人数(延べ人数)	人	0	96	R3
R4							742,424
②学校支援地域本部事業		ボランティア登録人数	人	268	288	R3	700,387
						R4	938,970
③学習支援塾		参加人数(延べ人数)	人	983	283	R3	401,445
						R4	388,908

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①子どもたちが豊かに成長できる環境づくりのためにもボランティアの人材不足は継続的な課題であることから、小中一貫コミュニティ・スクールを周知し、活動の輪を広げ、様々な人材を確保する必要がある。</p> <p>②学校運営における将来像について、学校・地域・保護者・教育委員会が共通の目標を持ち、それぞれが活躍できる範囲や協働できる範囲を検討する必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①放課後子ども教室終了後は車による送迎を実施しており、町バスの委託業者に運転業務を委託したが、バス運転手が人材不足であるため、希望日に運転手を確保することが難しい。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①ひまわり畑プロジェクト周知のため、三郷町公式Facebookにて活動を発信した。ひまわりの種を収穫後は、小中一貫コミュニティ・スクールのPRが印刷された小袋に詰めて配布した。種の小袋を通じて、子育て世代ではない町民の方々にも、小中一貫コミュニティ・スクールを知ってもらうことができた。今後も継続し、認知を広げることでボランティア人材確保へ繋げていく。</p> <p>②引き続き、学校運営に携わる全ての人材がコミュニティ・スクールについての理解を深めるよう学校や教育委員会が中心となり、コミュニティ・スクール制度の周知を広報誌やSNSも活用し情報発信及び提供に努める。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①子どもたちが放課後子ども教室から安全に帰宅するためにも車での送迎は専門業者に運転業務を委託する必要があるため、一部徒歩での送迎を検討する。徒歩での送迎は放課後児童クラブにてシルバー人材センターが降所時の見守り業務を担っているため連携を検討する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可) (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
小中一貫コミュニティ・スクールを継続するにあたり、「地域で子どもたちを守り、育てる」雰囲気醸成を目指し、地域・保護者・学校・行政の連携を強化を図る。さらに学校運営に係る協働の重要性について伝える働きかけを行う。		



# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑧安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	教育大綱	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見守り活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。</li> <li>子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信先を拡充し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。</li> <li>園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども情報ネットさんごう <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの安全確保を目指し、不審者情報、下校時刻の変更並びに学校及び放課後児童クラブの休校休所情報等を登録者にメール配信により情報提供する。</li> </ul> </li> <li>○さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校、PTA及び地域の連携により、自治会等を中心とした住民ボランティアの方々にご協力いただき、登下校時の通学路で見守りを行う。</li> <li>ボランティアの見守りに併せ、通学路上における重要危険個所に安全巡視員を配置(シルバー人材センター委託)することで、地域による見守りの必要性を啓発し、より多くの大人の目で児童生徒を見守り、登下校時の安全確保に努める。</li> </ul> </li> <li>○青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の下校時にあわせて、町内を巡視する青色防犯パトロールを実施する。</li> </ul> </li> <li>○防犯・交通安全教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>警察の協力により、小学校及び幼稚園において、防犯・交通安全教室を開催する。</li> </ul> </li> <li>○子ども110番の家(住環境政策課) <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが身の危険を感じたとき、また、被害に遭ったとき、子どもを保護し関係機関へ連絡するなどの子どもの安全確保はもとより、「子ども110番の家」の旗を掲げることで犯罪の抑制効果も期待できる。</li> </ul> </li> <li>◎見守りビーコンシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が登下校の状況をスマートフォン等で確認できる見守りビーコンシステムを構築する。</li> </ul> </li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○子ども情報ネット配信状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>配信件数</th> <th>うち町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	不審者内容	配信件数	うち町内件数	声掛け	5	1	つきまとい	1	0	露出	1	0	痴漢	0	0	盗撮	0	0	傷害・犯罪	0	0	不審電話	0	0	その他	1	0	合計	8	1	<p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報を登録者へメール配信する。</li> </ul> <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童や生徒の保護者、各種団体・関係機関の関係者など計1,281人。(令和4年12月末現在)</li> </ul>
	不審者内容	配信件数	うち町内件数																														
声掛け	5	1																															
つきまとい	1	0																															
露出	1	0																															
痴漢	0	0																															
盗撮	0	0																															
傷害・犯罪	0	0																															
不審電話	0	0																															
その他	1	0																															
合計	8	1																															
	<p>○さんごう子ども見まもり隊</p> <p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会等</td> <td>13</td> <td>191</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>15</td> <td>171</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>—</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>568</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記一覧には含まれない未登録の協力者も多い。</p>	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会等	13	191	学校関係	7	115	各種団体	15	171	町議会	1	13	教育委員会	1	5	個人	—	73	合計	37	568	<p>【通学路合同点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や園より報告のあった通学園路上やお散歩コースの危険個所について、町関係各課、学校、警察署及び県土木 事務所立会いの下、合同点検を実施し、危険個所の共有及び対策について検討。</li> </ul>							
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																															
自治会等	13	191																															
学校関係	7	115																															
各種団体	15	171																															
町議会	1	13																															
教育委員会	1	5																															
個人	—	73																															
合計	37	568																															

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町全体で子どもの安全対策に取り組んできた結果、令和4年度においても子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害はなかった。また、不審者情報件数は近隣地域では増加している中、三郷町では減少傾向にある。これは地域住民や子どもたちの危機意識の向上が犯罪被害の抑止につながっているものと考えられ、「子ども情報ネットさんごう」登録者数も前年度比81人の増で、登録者数が年々増加していることから地域ぐるみで子どもたちを見守る意識が醸成されていると考えられる。しかしながら、依然、不審者の出没はなくなり、児童生徒が犯罪の被害にあうことが懸念されるため、引き続き、学校・地域・町との連携及び協力による防犯意識の徹底は不可欠である。【成果指標①】</li> <li>「子ども見まもり隊」の登録人数については、昨年より14名減少した。これはコロナによる影響も考えられるが見守り活動協力者の多くは高齢であり健康状態等の理由から登録を解除されたり、登録していても活動を休止されている方も多い。こうした背景から「子ども見まもり隊」に加え、新たな見守り体制が必要なことから、通学路にある防犯カメラ設置箇所に見守りビーコン受信機を新設した。このことにより、子どもたちがビーコンタグと呼ばれる発信機を携帯し、受信機付近を通過すると子どもの居場所が保護者に通知されるシステムを利用することができる。なお、令和4年度は受信機の設置を実施、システムの稼働は令和5年度からとなる。【成果指標②】</li> <li>未だなくならない道路交通法違反などの危険運転から、登下校中の児童生徒を守るため、町内通学路危険箇所について、警察署、県土木事務所及び本町関係各課の協力のもと、通学路の合同点検を実施し各種対策を講じた。また、令和3年度に千葉県で飲酒運転のトラックが下校中の児童に衝突する痛ましい事故が発生したことを受け、交通量が多く、車のスピードが出る勢野北2丁目の3差路交差点に安全巡視員を配置し、地域の子どもは地域で守ることをモットーに、これまで以上に警戒を強めた。【成果指標③】</li> </ul>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)	
	①子ども情報ネット配信		メール登録者数	人	1,200	1,281	R3
②子ども見まもり隊		見まもり隊登録人数(累積人数)	人	582	568	R3	0
						R4	0
③巡視委託		巡視回数(小学校年間合計・延べ回数)	回	1,982	2,444	R3	2,903,056
						R4	3,355,259
④青色防犯パトロール		パトロール回数	回	84	88	R3	0
						R4	0

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①通学路危険箇所への対策のための予算確保及び関係機関への協力依頼が必要となる。</li> <li>②地域住民の協力による見守り活動は、本町においても大きな効果が見られるが、子どもたちに対しては防犯と交通安全に対する意識づけを図ることが必要である。</li> </ul> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①見守り隊の多くが高齢となり健康状態等の理由から活動を休止している方も多く、就労等の理由により、若い世代の協力が困難なことから、他の方策の検討が必要である。</li> <li>②熱中症リスクの高い時期の登下校時や屋外活動時における子どもたちの体調管理や熱中症事故を起こさない取り組みを早急に検討していく必要がある。</li> </ul>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①逐次、町内道路担当課及び環境整備担当課と情報共有し、国・県の関係機関や県警察への協力または対応を依頼。</li> <li>②警察や地域住民と協力しながら、交通安全教室や防犯教室等の取組を継続し、登下校時の子どもたちに声掛けやあいさつを通して意識づけを行っていく。</li> </ul> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①多くの方が見守り隊の存在は知っているものの、見守り活動における活動内容の実態が把握できず、協力を躊躇する方も一定数おられることが考えられるため、広報誌やSNSで活動写真等を掲載し、わかりやすく活動内容を周知することで、「気軽に」「少しの時間でも」参加できる活動であることを理解してもらい参加を呼び掛ける。従来の見守り隊による支援を続けていくとともに、令和4年度に設置した見守りビーコンシステムを活用し、登下校時の見守り体制の強化を図る。また、そのためにも見守りビーコンシステムにできる限り多くの児童・生徒が加入してもらえるような方策を検討する。</li> <li>②熱中症対策にはこまめな水分補給が重要であるため、水筒の水分がなくなることがないように、ウォーターサーバーを設置する。また、夏場の部活動等で熱中症事故を起こさないよう、ミストシャワーの設置やその他の方策を学校と協議する。</li> </ul>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>安全・安心の学校づくりには、地域住民の協力が欠かせないことから、今後も地域と町行政及び関係機関との連携の更なる強化の必要がある。令和4年度からのコミュニティ・スクールを導入しており、協力団体及び各地域における見守り活動の組織化を図り、組織としての活動母体を築くと共に、各校の学校運営協議会においても各々の校区における通学路等の安全確保について協議を行っていく必要がある。今後も、地域住民に対する協力の呼びかけを続け、地域全体で更なる危機感と防犯意識の向上を図るとともに新設した見守りビーコンシステムを有効活用できるよう方策を検討する。</p>		

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑨学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (教育総務課)	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校給食衛生管理基準」に基づき、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。</li> <li>「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○安全安心な学校給食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職場の衛生管理及び職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する。</li> <li>安全安心でおいしい給食を提供するため、献立作成にあたっては、児童生徒の個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用することを定めた「学校給食摂取基準」に基づき、常に食品の組み合わせや調理方法の改善を図るとともに、魅力あるおいしい給食となるよう努める。</li> <li>栄養管理職員の資質向上を図るため、調理員研修会等に積極的に参加する。</li> </ul> <p>○食育・地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、「食」の指導の充実を図る。</li> <li>農業委員会の指導及び協力を得て、食育の面も含めて「教育ファーム実践事業」を推進するとともに、信貴山のどか村やCAP35の協力も得て、町内産の食材を使用することにより地産地消の推進を図る。</li> </ul> <p>○給食センターの運営方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食センターの調理・配送等業務については業者に委託し、きめ細かな食物アレルギー対応等、安全安心な給食の提供に努める。</li> <li>給食の栄養価や質の向上を維持していくため、給食費の適正化を図る。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○安全安心の学校給食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園及び小学校における保護者を対象とした給食試食会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</li> <li>安全・安心な学校給食を提供するため、可能な限り国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村及びCAP35の旬の野菜を積極的に使用した。</li> </ul> <p>○食育・地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食育については、各学校において作成した「食に関する指導」の全体計画をもとに実践。</li> <li>生活科・家庭科や総合的な学習の時間における「食に関する指導」や給食に関わる指導を実施。</li> </ul> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教科等授業時間数： 43.5時間</li> <li>② 給食指導時間数： 3.5時間</li> <li>③ 個別指導その他： 30.5時間</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「食育推進事業」として、給食センター2階研修室において住民を対象に年間18回のクッキング教室を実施。また、学校給食を身近に感じていただくことを目的に、住民給食試食会を年間述べ20日間実施した結果、71人の参加者を集客することができた。</li> <li>「教育ファーム実践事業」については、農業委員会の指導及び協力を得て、食育及び地産地消推進の観点から、体験授業として各小学校児童がタマネギを5月に収穫した。また、11月には次年度の収穫に向け、各小学校児童がタマネギの作付けを行った。</li> <li>食材の有効活用を図るため、地元で採れた野菜等をかき揚げやコロケ等の加工食品にし、給食に提供した。</li> </ul> <p>○給食費の滞納状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徴収業務として、文書による督促及び電話による交渉に加え、令和4年度は希望される家庭に対し、児童手当による充当の手続きを行ったが、年度内の滞納の解消には至らなかった。</li> </ul> <p>【令和4年度末滞納状況】</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年度末現在の滞納額</td> <td>119,100円 (8件)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">&lt;内訳&gt;</td> </tr> <tr> <td>①滞納繰越分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度末滞納額</td> <td>81,800円 (4件)</td> </tr> <tr> <td>収納額</td> <td>0円 (0件)</td> </tr> <tr> <td>令和4年度末滞納額</td> <td>81,800円 (4件)</td> </tr> <tr> <td>②現年度分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和4年度末滞納額</td> <td>37,300円 (4件)</td> </tr> </table> <p>○給食センターの運営方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食センターにおける調理・配送等業務は、公募型プロポーザル方式(企画提案方式)により業者選定し、現在、株式会社東洋食品に5ヵ年契約(平成30年8月1日から令和5年7月31日)で委託している。</li> <li>食物アレルギー対応として、卵(鶏卵・うずら卵)・乳、乳製品・エビ・カニのアレルギーについては、除去食により対応。また、卵・乳、乳製品を含むデザートに対しては代替食により対応。なお、牛乳の除去・代替(緑茶・豆乳)については、保護者の意向に沿ってきめ細かに対応している。</li> </ul>	令和4年度末現在の滞納額	119,100円 (8件)	<内訳>		①滞納繰越分		令和3年度末滞納額	81,800円 (4件)	収納額	0円 (0件)	令和4年度末滞納額	81,800円 (4件)	②現年度分		令和4年度末滞納額	37,300円 (4件)
令和4年度末現在の滞納額	119,100円 (8件)																
<内訳>																	
①滞納繰越分																	
令和3年度末滞納額	81,800円 (4件)																
収納額	0円 (0件)																
令和4年度末滞納額	81,800円 (4件)																
②現年度分																	
令和4年度末滞納額	37,300円 (4件)																

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園や小学校での保護者を対象とした給食試食会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止することとなったが、食育指導では、総合的な事業を通じて新1年生の給食センターの施設探検を開催するなど、給食に対する関心を深めることができた。【成果指標①②】</li> <li>・給食費の徴収については、未納が始まる早期の時点で適正な滞納整理を行うことが重要であるが、滞納繰越分については経済的理由により納付困難等の事情により徴収することができなかった。現年度分については、37,300円が徴収できていないが、保護者と協議を行った結果、令和5年度に児童手当から充当を行うことのほか、学校と協力して、文書・電話にて督促中である。【成果指標③】</li> <li>・調理配送等業務を民間委託にしたことにより、高度な衛生管理の実現及び安全安心な給食の提供及び調理員の資質向上を図ることができている。食物アレルギー対応については、保護者・学校・給食センターと互いに連携を密にして対象児童生徒にきめ細かな対応を行っており、安全安心な学校給食の提供が図れている。</li> <li>・食育・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を提供できた。令和4年度における町内食材地産地消率については横ばいではあるが、農業委員会や 信貴山のどか村、CAP35の協力により、安定的に供給することができた。【成果指標④】</li> <li>・住民を対象に実施する食育推進事業「食育クッキング教室」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数を削減しての開催としましてが、世界の料理・そば打ち体験など、内容に変化をつけたことで新規の参加者を集客できた。【成果指標⑤】</li> </ul>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
	①給食試食会 (幼稚園・小学校)	参加人数	人	0	0	R3 R4
②食育指導	延べクラス数	クラス	37	43	R3 R4	
③給食費の滞納整理	滞納者数 (年度末)	人	4	8	R3 81,800(滞納額) R4 119,100(滞納額)	
④食育・地産地消の推進	町内食材地産地消率	%	3.04	3.04	R3 R4	
⑤食育推進事業 (食育クッキング教室)	開催回数	回	27	38	R3 R4	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①給食費の徴収については、滞納が始まる早い時点での適正な徴収が必要である。</li> <li>②食育推進事業について、新規の参加者を確保するための幅広いPR方法等、工夫が必要である。</li> </ul> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①物価高騰の中、食育の観点から食材の質の維持を図る必要があるため、保護者から徴収する給食費を見直すことを含めた検討が必要である。</li> <li>②各学校(園)ともに残食が多く見られることから残食を減らす取り組みが必要である。</li> </ul>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①給食費の滞納整理については、今後も継続的に学校と連携して定期的に保護者と交渉し、未納の解消に努める。</li> <li>②食育推進事業については、平日に教室を開催するなどして、新規参加者の獲得を目指す。また、魅力ある食育クッキング教室を企画・開催する。参加人数については、新型コロナウイルス感染対策として制限していた人数を以前の人数に戻し、新たに若い世代にも参加してもらえるようSNSを活用し、PRを行う。</li> </ul> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①物価高騰下においても食育の観点から給食を通じて様々な食材に触れることができるよう、物価高騰分については臨時交付金も活用しながら公費による対応も検討する。</li> <li>②残食の軽減のため、栄養士による授業・委員会活動を通じ、栄養・体作り等の観点での食育指導を増やす。</li> </ul>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も農業委員会等の各団体の協力や更なる連携強化を図り、地産地消の積極的な推進及び安全安心な学校給食の提供に努める。</li> <li>・今後も農業委員会の指導及び協力を得ながら教育ファーム実践事業を推進し、タマネギの作付・収穫など、子どもたち自身の体験を通じて、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の気持ちや理解を深める活動を展開する。また、食育はもとより地産地消の重要性などに鑑み、積極的な事業展開を実施する。</li> <li>・物価高騰下にあっても、園児、児童、生徒たちにとって毎日の給食を通じて栄養バランスがとれ、様々な食材に触れる機会となるよう、公費負担だけでなく給食費の適正化も視野に入れた検討を行う。</li> <li>・給食費の滞納については、学校との連携強化をさらに図り、滞納額の解消に努め、今後も引き続き『滞納ゼロ』を目指して滞納整理に努める。また、併せて「三郷町学校給食費の不納欠損処分要綱」の規定に基づき、必要に応じて不納欠損処分の手続きを行い、適正な滞納整理を実施する。</li> <li>・フェイスブックやインスタグラムをはじめ、カレンダーアプリ「ジョルテ」を活用し、学校給食の献立の掲載等、SNSを活用した情報の提供を継続して行う。</li> <li>・住民を対象とした「食育クッキング教室」や「給食試食会」の開催を通じ、食育事業を引き続き推進する。</li> </ul>

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑩幼児教育の充実	担当課名	こども未来課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育要領に基づく、適切な教育課程の編成を行います。</li> <li>・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を培う幼児教育の充実に努めます。</li> <li>・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然などに触れ、豊かな感性や主体性を育み、生きる力の基礎を培う環境づくりに努める。</li> <li>・幼児一人ひとりの特性に応じた発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育むべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで、円滑に小学校へ移行できるようにする。</li> <li>・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指し、幼稚園の機能を活かして預かり保育や教育相談を行い、子育て支援に努める。</li> <li>・研究テーマ「心を動かす遊びを見つけ、主体的にかかわる子どもをめざす」に向かい保育内容の充実を図る。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○幼稚園教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりやクラスだより、バスの車窓への保育風景写真の掲示を通じて、保護者に子どもたちの様子をこまめに知らせる工夫を行った。また、参観等を通して幼児期に育みたい生活経験などの情報を伝え、保護者が幼児教育に対する理解を深められるよう働きかけた。</li> </ul> <p>○特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする園児の教育支援計画及び個別指導計画を作成し、保護者や関係機関との連携に努めた。また、職員のスキルアップや幼児理解を深めることを目的として、巡回アドバイザーによる園内研修を実施した。 町の巡回相談…10回</li> </ul> <p>○子育て支援及び一時預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てや発育に不安を感じる保護者の思いを受け止め共有することにより、保護者がポジティブに子育てができるように教育相談を行った。</li> <li>・次年度入園予定の未就園児を対象として9月に見学会を4回に分けて行った。また、12月に入園前の健康診断を行い、その中で短い時間ではあったが入園に向けての不安や疑問に答えることができた。3月には未就園児に対してプレ保育を実施した。</li> <li>・家族の通院や介護、兄や姉の授業参観等のほか、保護者の就労時間や各家庭の諸事情により、緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育の必要が生じた場合に、できる限り対応し、一時預かり保育を行った。</li> </ul> <p>○環境づくりへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月季節を感じられる壁面構成を考えたり、各クラスの子どもの姿や遊びの流れを出し合い、保育室内の環境構成を考えた。また、教員間で話し合い、子どもたちに育んでほしい力がつくように園庭、運動場の環境構成を考えた(月1回程度の実施)</li> <li>・月案、週案を立てる中で先を見通した環境構成を考えた。また、日案を活用し、保育終了後に幼児の姿を振り返り、翌日に向けて環境の再構成を行うことに努めた。</li> </ul> <p>○保育内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の発達過程をふまえながら、時期や季節を逃さないよう、5領域の活動を偏ることなく経験できるように計画を立てた。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を心にとめて幼児の姿を分析した。</li> <li>・園外環境に目を向け、園外に出かけて豊かな自然や建造物に触れ美しさや不思議さ、偉大さを感じることができるよう努めた。</li> </ul> <p>○ALTとの交流(年間8回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年中～年長児が歌や遊びなどを通じて外国語や異文化に触れ、コミュニケーションの楽しさを感じることができる「ALTとの交流」を実施。(年中6回・年長12回)</li> </ul>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教育の啓発については、その日の子どもたちの様子をタイムリーに伝えるためにバスに保育風景写真のポスターを掲示するようにした。写真を添えたことで、具体的な保育内容がわかり、子どもたちが様々な経験をしていることを保護者に発信できた。</li> <li>・特別支援教育においては、こども未来課の事業である「ひまわり教室」「巡回相談」が保護者や教員にも活用の仕方が定着してきたことで、発達に課題をもつ幼児について、早い時期に懇談の機会を設け、発達を助長することができた。また、巡回相談によって、教員が一人ひとりの幼児に応じたより多くの支援方法を学ぶとともに、体幹を作るために発達年齢に沿った保育内容を学ぶことができた。</li> <li>・一時預かり保育については、母親の就労や通院のための付き添いや介護などを理由とした利用が多かった。また、小学校、中学校の参観・懇談を理由とした利用もあった。</li> <li>・未就園児のいる家庭に、半日体験入園で年長児の発表を見てもらったり、在園児の姿を見てもらったりし、幼稚園の雰囲気を知ってもらうことができた。また、幼稚園見学会、入園説明会、新入園児健康診断では少しではあるが、子育ての悩みや入園にあたっての保護者の想いを伺うことができた。</li> <li>・保育内容の充実については、職員同士が活発に意見やアイデアを出し合い、互いに刺激を受け合いながら取り組めた。</li> <li>・環境づくりへの取り組みは、長期・短期的に考える習慣、日々の保育を振り返り、反省を活かして環境を再構築していく習慣を身につけることで、流れのある環境構成をすることにつながった。また、園外にも目を向けることができ、園周辺の豊かな自然環境に五感を通して存分に触れることができた。</li> </ul>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度
	①預かり保育	実施回数	回	80	68

③事業の課題	<p><b>【継続的な課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育相談や保育内容の理解、また、家庭教育啓発のために保護者と連携できる関係性を築く。</li> <li>②「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」について保育園とも情報を共有しつつ、就学前教育の充実に向けた保幼小の連携体制づくりを行う。</li> <li>③教育活動の質を向上できるように組織的・計画的に教育課程を編成し、職員間の理解を図る。</li> <li>④幼児理解を深め、全職員で共通理解を持ちながら園児を保育できるような取り組みが必要である。</li> </ul> <p><b>【新たな課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①次年度入園する家庭に園のことを知ってもらう機会の確保。</li> </ul>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p><b>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①電話連絡・個別の面談・家庭訪問などで、教員が保護者との積極的なコミュニケーションに努めるとともに保護者の願いや子育ての悩みに寄り添い、向き合ってきた。その結果、相談を受ける保護者との信頼関係は深まりつつある。また、コロナ禍で中止になっていた参観や行事の再開により、少しずつ保護者とコミュニケーションをとる場が増え、保育内容や幼児教育に対する理解を得ることができるようになりつつある。しかし充分ではないため園だより、クラスだより、メール配信などを使って幼稚園での活動を伝えていきたい。</li> <li>②今年度は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の力」について研修を深めることができたが、コロナ禍で保幼小連携については、連携が不十分だった。今後は現状の感染状況の中でもお互いの教育活動について理解をしあえるよう工夫を凝らさなければならないと感じる。</li> <li>③年度初めに教育課程の共通理解をし、年間計画の見直しを行ったり、保育内容についてより分かりやすく細かく計画を立てたりしたので、日々の保育に活かしやすくなったが、計画倒れになった内容もあったので、今後は長期的・短期的に見通した計画を立て実践につなげたい。</li> <li>④今年度は学期ごとの振り返りを行い、職員間で子どもの情報共有をし、幼児理解を深める研修を行った。その結果、他の職員からの意見を通して、新たなことに気づきや、いつもと違う視点からも子どもの理解を深めることができた。</li> </ul> <p><b>【新たな課題に対する改善方法の検討】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①次年度入園する未就園児を対象とした親子登園（プレ保育）を実施する。入園前からの保護者・幼児との信頼関係の構築、保護者同士の交流の場づくりに努めることで、入園後の生活への円滑な接続を図る。</li> </ul>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/>現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>見直し (内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の資質向上・教育力向上のために、幼稚園教育の基本である「環境による教育」を教員で切磋琢磨しながら考えていきたい。そして、教育の場として保護者との信頼関係をさらに深め教育的な意味を保護者に情報発信していく。</li> <li>・計画的な研修の時間を確保していく。また、日々の保育中で気づいたことや感じたことを言い合える職員関係を構築する。</li> <li>・教育相談を積極的に行い、内容を職員間で情報共有しながら、関係機関との連携を含めてその子に応じた対応を考えていく。</li> </ul>
--------------	---

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	①生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。</li> <li>・知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制度の構築を図ります。</li> <li>・各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができるよう、多様な分野での学習活動の場を提供する。</li> </ul> </li> <li>○地域住民等の人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に伴い、活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。</li> </ul> </li> <li>○各種学級事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き、住民ニーズに応じた各種学級を開講する。</li> </ul> </li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○学習基盤の整備 社会情勢や住民ニーズを取り入れ、時代に沿った学習内容とする。						
	○各種学級の運営状況						
	学級名	目的	事業内容	R3年度		R4年度	
				学級生数	開催回数	学級生数	開催回数
	家庭教育学級	子ども達が元気に生き生きと成長するために大切な「家庭での教育」に重点を置き、保護者を対象にさまざまな講義や体験学習などを実施し、家庭での教育の向上やスキルアップを図る。	・教養講座	37人	3回	32人	7回
	長寿学級	熟年者として、時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を探求し、自主的・意欲的な学習活動を通じて、生き甲斐を感じる。	・健康体操 ・音楽鑑賞 ・講演等	67人	4回	58人	4回
	くれない学級	教養を高め、自主的・意欲的な学習活動を行い、女性としての生き甲斐を高める。	・教養講座 ・健康体操 ・創作学習 ・音楽鑑賞等	73人	4回	74人	8回
歴史教養講座	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	・講義	51人	3回	68人	10回	
みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ、知識を深めるとともに町の歴史と文化について関心をもち、心豊かにする。	・講義	75人	5回	70人	8回	
計			303人	19回	302人	37回	
※5学級合同学習会：10月「教育講演会」、2月「健康福祉学習会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。							

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ○各種学習の運営 ・生涯学習学級として「家庭教育学級」「長寿学級」「くれない学級」「歴史教養講座」「みさと万葉学習会」の5学級は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染防止対策を講じながら可能な限り開催した。また、登録者数は、延べ302名で、前年度より1名の減少となったものの、各学級の開催回数は、ほぼ倍増して開催出来た。新型コロナウイルスの影響を受けたものの、概ね昨年度に近い登録者数を確保できたことに加え、活動は徐々に戻りつつある。今後も、町の施策や町内で活動する他の団体と連携を更に強化し、学級生が受講しやすいように、状況に応じた工夫と時代に合った学習内容を検討し、充実したメニューを積極的に展開していく。 【成果指標①】 ・各学級の現地学習で使用するバスの賃借料については、町が一部を負担することにより、学級生の負担軽減を図ったが、コロナの終息がみられないことから多くの学級でバスでの現地学習を中止したが、一部の学級では公共交通機関を利用しての現地学習を実施した。【成果指標①】 ・各学級の運営は、それぞれの運営委員会により事業内容等を検討し、学級の自主的な運営を促した。 ・学習内容については、引き続き学級生から希望の聞き取りを行い、反映させるよう努めた。 ○地域住民等の人材の活用 ・各学級の講師には、町の文化教室や各施設のボランティア団体等を活用するなど、地域人材の活用を図り、地域の活性化を図るとともに、内容のバリエーションを広げるために町外の講師の招聘や奈良県登録の講師及び他機関の人材も活用し、内容の充実を努めた。					
	②成果指標					

事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
①生涯学習学級	登録者数	人	303	302	R 3 381,270
					R 4 657,204

③事業の課題	【継続的な課題】 ①生涯学習の各学級は、受講者には人気があることから例年同内容で継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確に捉えながら内容の刷新を図ることが必要である。 ②各学級生の高齢化や学級の地区役員が担当するエリアの広さから、役員にこれまでと同様の役割や負担を求めることが難しくなっている。 ③全ての学級において、多くの講義や現地学習が新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となっており、次年度以降においても講義の開催の可否、開催場所、開催方法などに大きな影響が出る事が予測される。流動的な状況に適応すべく、事前に学習方法等を探索していく必要がある。					
	【新たな課題】 ①長年勤めて頂いた講師の退任により、講師に頼り切りだった内容が完全にリニューアルされた学級もあり、今後のその円滑な運営方法。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①ウイズコロナの時代への変遷に伴い、様々な活動が徐々に復活していく中で、学級の学習活動についてもコロナ前に戻りつつある。今の過渡期は、学級生の自主運営を促す重要なタイミングでもあり、学級生のニーズの反映と様々なジャンルの講師の活用を図りつつ、コロナ前のやり方に固執することなく、柔軟に幅広く学習テーマを変化させることも必要であるが、固定学級生のニーズとの乖離も見受けられるのが現状である。 ②「学級生による自主運営」の確立が進んでいる学級も存在するが、高齢化と負担の偏りが著しくなっている現状に変わりはない。このことから、幅広い世代の学級生の入級を引き続き促進し、長く続けることの出来る学級運営が必要である。 ③ウイズコロナの時代に合わせて感染症対策を引き続き実施しつつ、更に充実した学級運営を促進していく。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 ①今後は、講師の退任も視野に入れ、内容にバリエーションを持たせて、固定の学級生は勿論、新規の学級生の入級も積極的に促進し、各学級の積極的かつ柔軟な自主運営を促していく必要がある。					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)					
	<input type="checkbox"/> 見直し (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 ・住民が主体的に学習できる学級運営を引き続き行う。 ・講師やボランティア等、地域の人材及び歴史、産業などの町の資源を掘り起こし、活用する。 ・社会の変化に合った学習内容とし、生涯教育の更なる充実を図る。 ・各学級運営に工夫を凝らし、学級生の増加と幅広い世代の学級生の入級を促進する。					



# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑫青少年の育成	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・児童・生徒の育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○青少年育成三郷町民会議 青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体の緊密な協力により、広く町民の総意を結集し、次代を担う青少年の育成を図る。 ①ふれあいのつどい ・家族・地域社会等のふれあいを築くことを目的に開催する。 ②教育講演会 ・次代を担う青少年の育成を図ることを目的として講演会を開催する。 ③問題行動等防止 ・巡回指導の実施及び関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。 ○成人式・はたちのつどい 新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。令和4年4月1日付の民法の一部改正（成年年齢の引き下げ）施行以降の「成人式」については、当該年度に20歳になる方を対象に「はたちのつどい」として式典を開催する。
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○青少年育成三郷町民会議 ①指導推進部会 幼保小中高の子どもたちの様子や長期休業期間の生活の様子などについて学期毎に意見交換を行い、情報を共有し、各学校園において児童生徒等の指導に当たった。また、情報を共有することにより、学校のみならず、町全体の問題として地域の理解を深め、学校、保護者、地域、関係機関等の連携強化を図った。 ②調査研究部会 町民会議委員を対象に研修会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。 ③啓発促進部会 町民会議の各種事業に係るポスターの作成や広報、また「子ども・若者支援強調月間」のポスター募集等の啓発活動を展開した。 ④地域活動部会 「ふれあいのつどい」開催に係る内容・役割分担等、関係機関と協議及び連携し、事業開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 ⑤関係機関との連携 「三郷町要保護児童対策地域協議会」や「定例人推連絡会」と連携を図り、幼児・児童・生徒が置かれている現状を共通認識し、青少年の育成を図った。 ○問題行動等防止 ・巡回補導（生駒郡4町合同（生駒郡青少年指導連絡協議会）で実施） 実施日：令和4年8月23日（火） ・巡視活動 学校の長期休業期間に公用車による町内巡視（12回）を実施。 ※例年、関係機関の協力のもと行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、警察官同行により教育委員会事務局職員で実施。 （巡視時間 20時～21時） 実施日：夏休み期間 7月28日（木） 8月2日（火）4日（木）9日（火）16日（火）18日（木）23日（火）25日（木） 春休み期間 3月23日（木）24日（金）27日（月）28日（火） ○はたちのつどい 期日：令和5年1月8日（日） 場所：スポーツセンター及び文化センター 参加人数：154人 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、式典及び撮影会場の変更や式典の短縮をして開催した。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>○青少年育成三郷町民会議 ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で、計画していた事業の中止もあったが、児童・生徒の問題行動について、突発的な事案に対し、定例会連絡会議や町行政と教員・家庭・地域の間で緊急協議を逐次実施。学校や関係機関と共に青少年の真の問題点の把握・分析を行い、各関係機関と密接な連携を図りつつ、各部会の活動を実施した。</p> <p>○ふれあいのつどい・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【成果指標①】</p> <p>○教育講演会・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【成果指標②】</p> <p>○問題行動等防止巡視 ・警察官同行のもと教育委員会事務局職員により12回の夜間巡視活動を縮小して実施。問題行動事例は特に報告もなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、屋外での問題行動だけでなく、インターネットを介した問題行動等にも注視する必要がある。引き続き西和警察署と連携し、巡視を継続。【成果指標③】</p> <p>○はたちのつどい ・対象者217人のうち参加者が154人で、参加率は前年度73.7%から本年度は71.0%と2.7ポイント減少したものの、新型コロナウイルス感染症のクラスター等が発生することもなく、式典を無事に開催できた。今後も引き続き7割以上の参加率の目標にしながら、参加者の安全を最優先とした開催に努める。【成果指標④】</p> <p>※青少年の育成については、年々、家庭・学校・地域・行政の協働と連携の強化は図られている。今後も問題行動等の早期発見、的確な助言及び指導を通じて、問題行動等の未然防止や問題解決に努める。</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)	
	①ふれあいのつどい	参加人数	人	0	0	R 3	64,734
②教育講演会	参加人数	人	0	0			
③問題行動等防止巡視	巡視回数	回	12	12	R 4	55,689	
④はたちのつどい	参加率	%	73.7	71.0	R 3	579,818	
					R 4	566,560	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①成人式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止にする判断が難しく、オンライン開催よりも現地開催を希望する声も多いため、開催の是非は慎重な判断を要する。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①問題行動等防止巡視については、長年の継続事業であるが、ここ数年は指導の対象となる事象も皆無となっており、昨今は外での行動よりもSNS等が問題になるなど、時代と共に状況が変わってきている。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の拡大状況に柔軟に対応しながら、対策に必要な会場やスタッフや備品の確保を始め、状況に応じた事前準備と協議を重ね、担当課以外の協力を仰ぎながら、安全に開催する方法を検討する。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①時勢や子どもたちの行動に応じた効果的な指導と啓発方法の検討が必要である。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・青少年の育成には地域の協力が必要不可欠であることから、今後も関係機関等と連携を密に図り、協力を求めながら取り組む。</p> <p>・成人式については、「成人」に替わる新しい「20歳」の 카테고리を作り、「はたちのつどい」として式典を開催する。</p>		

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑬人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。</li> <li>・行政、関係機関・団体等の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育を受ける権利を保障されなかった方に、文字などを学習する機会を提供する。</li> </ul> </li> <li>○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な課題として捉え、人権確立を図る。</li> </ul> </li> <li>○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。</li> </ul> </li> <li>○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。</li> </ul> </li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日の午後3時30分～</li> <li>登録者数：1人</li> <li>学習内容：文字の練習、数字の計算、ローマ字練習、ボールペン習字・毛筆習字等</li> </ul> </li> <li>○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年度は前年度にできなかった「男女共同参画の実現について」をテーマに取り上げ、7月より連合自治会長と日程調整等を行っていたが、新型コロナウイルス感染者数の急増により、再び実施が厳しい状況となったため、中止せざるを得なくなった。</li> </ul> </li> <li>○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・3回の講演会及び2回の現地学習を下記のとおり行った。</li> <li>【講演】 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1回目) 期日：令和4年7月21日(木)</li> <li>講師：ヒューライツ大阪 上席研究員 朴君 愛氏</li> <li>演題：「SDGsと人権」</li> <li>(2回目) 期日：令和4年8月25日(木)</li> <li>講師：三郷町教育委員会 生涯学習課 中野 喜久氏</li> <li>演題：「貧困と教育」カンボジアの現状報告</li> <li>(3回目) 期日：令和4年9月13日(火)</li> <li>講師：奈良教育大学 特任教授 生田 周二氏</li> <li>演題：「子ども・若者の自立支援のアプローチをめぐって」</li> </ul> </li> <li>【現地学習】 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1回目) 期日：令和4年10月4日(火)</li> <li>場所：水平社博物館・県営福祉パーク</li> <li>講師：現地ボランティアガイド</li> <li>(2回目) 期日：令和4年11月10日(木)</li> <li>場所：銀閣寺の庭・全国水平社創立の地</li> <li>講師：現地ボランティアガイド</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図った。</li> <li>・「人権を確かめあう日県内一斉集会」などの事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> </li> </ul>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○識字学級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを求める生徒さんに寄り添い、求められる学習を提供することができた。【成果指標①】</li> </ul> <p>○人権教育地区別懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止【成果指標②】</li> </ul> <p>○人権問題学習セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数に制限を設けながら、5回のセミナーを開催することができた。【成果指標③】</li> </ul> <p>○人権に関する相談や対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携を図りながら随時対応できる体制を整えた。</li> </ul>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
	①識字学級	実施回数	回	0	21	R3 0 R4 0
②人権教育地区別懇談会	参加者数	人	0	0	R3 87,696 R4 66,000	
③人権問題学習セミナー	参加者数	人	0	112	R3 0 R4 260,750	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、ここ数年、一定の参加者はあるものの、大部分の地域で参加者の固定化、高齢化といった課題を抱えている。</p> <p>②人権教育地区別懇談会を15会場において自治連合会等单位で実施しているが、それぞれの地域住民の世代構成の違い等が顕著になってきていることから、幅広い世代に対応できる共通テーマの検討が必要である。</p> <p>③人権三法の啓発に加え、LGBTQ、発達障がい、インターネット、高齢者問題など、多様化する様々な問題に対する人権教育の推進。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①今や世界にも共通する多種多様な人権問題及びその課題について、世代・性別・人種・文化も問わない、人々の心に触れる人権教育の推進及びその機会の提供方法。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、地域の連携が重要であり、その周知方法も含め、各自治(連合)会長と連携を図り、啓発等についても協力と理解を求めながら実施する。</p> <p>②人権教育地区別懇談会開催時に実施している参加者のアンケートや総括会議等での意見も参考にしながら、時勢とニーズに合わせた計画を立案していく。</p> <p>③多様化・複雑化する新たな人権問題に対応できるよう、学識経験者等の意見を取り入れ、研修会等の啓発・啓蒙に反映させる。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①人権教育の適切なテーマと実施のタイミングを把握するとともに、デリケートな案件については、それが人の権利としてなぜ必要なのかを伝え、きめ細かな人権感覚の育成方法を検討することが重要である。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・人権は誰もが持つ普遍的な権利であり、その人権が尊重される地域社会を確立するために、学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。また、あらゆる事業に人権の視点が入っているかを注視していきたい。</p> <p>・コロナ禍で開催できなかった研修や啓発行事の再開方法及び内容を検討し、一人でも多くの参加者を得るよう工夫しながら実施する。</p>		

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑭文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。 ・施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 ・施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○グループ活動の支援 ・自主的な文化活動を行うグループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 ○各種講座の開設 ・文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうため、文化講座、健康講座等を実施。 ○指定管理者制度の活用 ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実した施設管理を行うため、公益財団法人三郷町文化振興財団を指定管理者に指定することにより当該財団の自主事業との相乗効果が期待できる。
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○文化講座・健康講座		[単位/人]	
	No.	講座名	内 容	延べ受講者数
			R3年度	R4年度
	1	銭太鼓	37	51
	2	入門ギター教室	74	79
	3	折り紙教室	49	29
	4	大人可愛いジュエリーバッグ	27	32
	5	ペーパークイリング	46	57
	6	花あそび教室	102	103
	7	ペン字・筆ペンレッスン	72	67
	8	はじめての絵手紙	123	59
	9	己書教室	72	59
	10	たのしい絵画	48	49
	11	ハングル入門	112	-
	12	囲碁入門講座	46	38
	13	使える英会話(超初心者向け)	102	42
	14	やさしい朗読教室	83	77
	15	スマホ入門	112	98
	16	スマホ入門秋	-	60
	17	整理・収納入門	35	30
	18	おとなのそろばん	-	82
	19	川柳教室	-	16
	20	万葉集で遊びましょう	-	50
	20	ストレッチフラダンス(女性専科)	-	29
	22	ゆる体操初級	49	44
	23	ツボ療法	36	65
		合 計	1,225	1,216
	○文化センター利用率			
		令和3年度	令和4年度	
	・文化ホール	2.6%	8.7%	
	・展示ホール・ロビー	16.0%	19.6%	
	・会議室・研修室・音楽室	30.5%	32.7%	
	・創作室・和室・茶室・視聴覚室	16.9%	18.7%	
	・リハール室・調理室・陶芸室ほか	20.7%	23.6%	
	・多目的室	-	3.8%	
	センター全体の利用率	21.0%	22.6%	
	○文化センター改修(主な改修)			
	・文化ホール屋上防水工事	554,400円		
	・壁面等防水(雨漏り)修繕	451,000円		
	・トイレ床修繕	352,000円		
	・自動ドア更新工事	308,000円		
	・ITV設備デジタルディスクレコーダー等機器更新	200,970円		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化講座・健康講座</p> <p>・令和4年度も、前年同様に新型コロナウイルス感染症対策のため、歌唱や調理(飲食)を伴う講座は開講せず、募集定員を10名までとして、25講座の受講者を募集し、22講座を開講した。不開講となった講座は少なかったが、かろうじて定員に達している講座が多かった。しかし、応募人数は減少傾向にあるものの、総受講者数は令和3年度の1,204人から1,216人へ増加した。また講座の雰囲気は、共に学習する場が町民の生きがいや仲間づくりの契機となっており、少人数で学べることから和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく受講されていた。【成果指標①】</p> <p>○文化センター利用状況</p> <p>・利用者数の把握が難しい施設もあることから、利用率(年間:各施設利用日数(コマ数)÷開館日数(コマ数))により評価を行う。新型コロナウイルスの感染拡大が収束してきていることから、従前の固定的な利用以外の申込みも多くなり、コロナ前の令和元年度の23.6%には満たないものの、利用率は回復した。しかし、前年同様に文化ホール(ロビー・展示ホール含む)は新型コロナワクチン接種会場として使用していたため、発表会などの申請希望の受付が出来なかったことから利用率は低迷した。また、銀行撤退後の多目的室を改修し、令和4年10月より貸館を開始したことにより、新たな需要もあった。【成果指標②】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
	①文化講座※		参加者数	人	1,204	1,216
②文化センター (決算額は指定管理委託料)		利用率	%	21.0	22.6	R3 42,109,497 R4 40,701,131

※各教室開催経費は指定管理委託料に含まれている。

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理において、経年劣化による不具合や故障が頻発しており計画的に改修する必要がある。</p> <p>②文化講座受講者の世代・性別による偏りをなくし、多様な住民の関心を集めることが必要。</p> <p>③文化講座の開講にあたり、継続して新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要がある。施設の定員制限や利用制限を設けたことにより従来の講座を行うことが難しくなっている。</p> <p>④文化講座終了後に自主的なクラブ活動としての継続が難しい。(講師がクラブとしての継続を希望しない。少人数だと講師謝金や施設使用料による個々の負担が大きい。習熟度の差から既存のクラブに入りにくい。受講者からクラブの代表となる人材が必要。)</p> <p>⑤文化講座で、同じ講座を次年度も継続して受講できるようにしても、初めて受講する人を優先するため定員オーバーにより受講できないことがある。また、受講者から開講回数が少ないという声がある。</p> <p>⑥アンケート結果をもとに希望の多い講座を開講するが、実際の申込数が少なかったり、認識の違いから途中退会されたりすることがある。逆に、スマホ講座などはアンケートでは希望にのぼらなかったが、予想を超える申込があり、表出されにくい需要を探る必要がある。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①文化講座への応募者数が減少傾向にある。また、文化講座における新たな講師を探すことが困難。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①令和2年度に設けた各施設の長寿命化計画に基づき、緊急性を勘案しながら計画的に改修する。</p> <p>②受講者のニーズを的確に捉えるためアンケートを実施し、今後の講座の参考とする。ニーズはあるが道具や材料等の初期費用が高額のため開講できないものは施設備品を拡充して貸出すことを検討する。</p> <p>③感染症対策備品の充実とこまめな消毒の実施により、感染リスクを抑えて講座を開講する。また、募集人数を減らし、少人数での開講を実施する。</p> <p>④講師が指導を継続することを希望するような流行に左右されにくい内容の講座を検討する。受講者の習熟度を高めるため、同じ講座を次年度も継続して受講できるようにする。少人数のため活動を始められないクラブへの入部を受講生へ勧める。</p> <p>⑤定員については、感染症対策を実施しながら令和4年度は定員オーバーが発生しなかったため、希望者の受け入れが可能となった。今後もアンケートなどを参考にし、内容によっては開講回数を増やすことで、受講者の満足度や習熟度の向上を図る。</p> <p>⑥アンケートの設問内容や実施時期、対象者の見直しを行った。また、受講者と直接やり取りをして、直接需要を探った。他にも、講座の作品展示や教室の様子を広報する工夫を行った。今後もアンケートで収集した受講者のコメントを掲載して広報内容を充実させ、受講者との認識のギャップを減らす工夫をする。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①他の講座と兼ねて受講できる、町の政策を促進するテーマを扱った、制限を設けない講座を設ける。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・文化センターの設備を改修することにより、改修期間中の利用率は低下するが、長期的な運用に耐えられるよう施設や設備の維持・管理計画を策定し、改修を行っていく。</p> <p>・指定管理業務委託による成果があることから、今後も教育委員会事業と文化振興財団事業の連携により、住民の自主的な文化活動の支援体制を強化する。</p> <p>・文化講座の開講・運営に必要な環境を整備する。</p> <p>・達成目標とする参加者数・利用率は低下するが、安全のため十分な感染症対策を実施しながら運用する。</p>		

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑮文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」 Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動団体について、地域の文化活動を支える方たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持ちながら、会員の輪を広げていきます。</li> <li>文化活動団体育成のための支援に努めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを構築する。</li> <li>○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各種団体の活動及び運営に要する経費の一部を補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①三郷町文化協会</li> <li>②三郷町地域婦人団体連絡協議会</li> <li>③三郷町子ども会連合会</li> <li>④三郷町民文化祭実行委員会</li> <li>⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会</li> </ul> </li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習の指導者等の活用支援             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師等の選定に際し、地域の団体・個人と連携を図ることにより、継続した講師依頼はもとより、新たな指導者の掘り起こしを試みた。また、新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら、開催することができた。</li> <li>①家庭教育学級 7回(教養講座3回、健康学習4回)</li> <li>②長寿学級 4回(音楽鑑賞1回、軽スポーツ1回、健康体操1回、防犯講演1回)</li> <li>③くれない学級 8回(教養講座2回、健康学習4回、健康体操1回、創作学習1回)</li> <li>④つながり学級&lt;三郷町子ども人権学習支援事業&gt; 6回(軽スポーツ1回、創作学習3回、お茶体験1回)</li> </ul> </li> <li>○団体への助成             <ul style="list-style-type: none"> <li>①三郷町文化協会(補助金額:279,557円)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>主な事業:総会(書面回答)、理事会、役員会及び共同事業として随時展示会、発表会を実施。また、現地での研修会を感染症対策を行いながら実施した。文化祭実行委員会事業に協力し、町民文化祭の運営を担った。文化協会まつりはワクチン接種による会場都合のため中止した。</li> </ul> </li> <li>②三郷町地域婦人団体連絡協議会(補助金額:200,000円)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>主な事業:町の各事業への協力、群幹部研修、日赤活動及び衣裳貸出事業を実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、老人福祉施設でのボランティア活動及び社会見学等の主催事業を中止することとなったため、代わりにコロナ禍を踏まえて見回りを随時実施した。</li> </ul> </li> <li>③三郷町子ども会連合会(補助金額:258,248円)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>主な事業:総会やリーダー研修会、「8月8日は子ども会の日」(プール遊び)を感染症対策を行いながら実施した。新型コロナウイルス感染症拡大(第8波)により、子ども会大会は中止したが、「節分会」を実施し、各家庭で伝統行事である節分豆まきを行った。合わせて「節分絵コンクール」を企画し、子どもたちの絵を展示し、入選した作品を表彰した。</li> </ul> </li> <li>④三郷町民文化祭実行委員会(補助金額:1,086,598円)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>主な事業:「第54回三郷町民文化祭」を10月22日(土)、23日(日)に開催をしたが、委員会で協議の末、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため模擬店のブースのみ規模縮小で実施した。</li> </ul> </li> <li>⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会(補助金額:389,539円)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>主な事業:「第35回三郷町芸術祭美術展」を9月8日(木)～9月11日(日)に開催。感染症対策を実施し、表彰式など一部縮小しながら4年ぶりの開催となった。100点の作品が出展され、開催期間中459人の来場者があった。また、小中学生を対象にした「子ども美術展」を同時開催し、24点の作品が出展された。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

<p>①達成度(成果)の分析</p>	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○生涯学習の指導者等の活用支援 ・開催を中止せざるを得なかった講座もあるものの、地域の指導者等の協力を得て生涯学習を実施することで、より活発な活動に繋がった。</p> <p>○団体への助成 ・文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付し運営の活性化を図った。 【成果指標①】</p> <p>○三郷町民文化祭実行委員会 ・三郷町民の積極的な参加を狙った、町主催行事の中でも特に大規模なイベントで、令和4年度は2年振りに開催した。【成果指標②】</p> <p>○三郷町芸術祭美術展実行委員会 ・前回開催時の出展品数や来場者数には遠く及ばないものの、2回の中止を経て、コロナ禍で出展者や来場者が安全に美術展を楽しめるように工夫して開催することができた。【成果指標③】</p>																																
<p>②成果指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①各団体への補助金 (文化協会・婦人会・子ども会)</td> <td>会員数</td> <td>人</td> <td>903</td> <td>792</td> <td>R 3 1,158,000 R 4 737,805</td> </tr> <tr> <td>参加団体数</td> <td>団体</td> <td>中止</td> <td>73</td> <td>R 3 0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②三郷町民文化祭実行委員会</td> <td>来場者数</td> <td>人</td> <td>中止</td> <td>2,087</td> <td>R 4 1,086,598</td> </tr> <tr> <td>来場者数(展示会場)</td> <td>人</td> <td>中止</td> <td>459</td> <td>R 3 22,838 R 4 389,539</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)	①各団体への補助金 (文化協会・婦人会・子ども会)	会員数	人	903	792	R 3 1,158,000 R 4 737,805	参加団体数	団体	中止	73	R 3 0	②三郷町民文化祭実行委員会	来場者数	人	中止	2,087	R 4 1,086,598	来場者数(展示会場)	人	中止	459	R 3 22,838 R 4 389,539				
事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)																												
①各団体への補助金 (文化協会・婦人会・子ども会)	会員数	人	903	792	R 3 1,158,000 R 4 737,805																												
	参加団体数	団体	中止	73	R 3 0																												
②三郷町民文化祭実行委員会	来場者数	人	中止	2,087	R 4 1,086,598																												
	来場者数(展示会場)	人	中止	459	R 3 22,838 R 4 389,539																												
<p>③事業の課題</p>	<p>【継続的な課題】</p> <p>①生涯学習の各種事業実施にあたり、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。</p> <p>②三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数を増加し、組織力を強化する必要がある。</p> <p>③三郷町には文化活動推進を目的とする補助団体として、公益財団法人三郷町文化振興財団及び三郷町文化協会があり、文化芸術を推進する補助事業として文化祭及び芸術祭美術展がある。これまで、それぞれの団体や事業において独自に活動を続けてきた経緯があるが、現状ではいずれも会員や入場者数を確保することに苦慮しており、今後活動の連携が必要である。</p> <p>④三郷町民文化祭の運営に係る人材及び人員不足。</p> <p>⑤三郷町芸術祭美術展の目標来場者数(1,000名)の確保。</p> <p>⑥新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響下での大規模イベントの開催方法。</p> <p>⑦SDGsの取り組みを促進するイベント開催。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①芸術祭美術展は、出展料を徴収して審査も行うため、出展そのもののハードルも高く、ここ数年、出展部門による出展数に大きな偏りがあり、出展作品の募集が実行委員の負担になってきている。</p>																																

5 改善方法・結果(ACTION)

<p>課題の改善方法・結果</p>	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①文化センターで行っている文化教室などと情報交換を行い、地域の人材を把握できる体制を構築。</p> <p>②地域婦人団体連絡協議会の会員募集を引き続き広報をはじめ、いろいろなツールを活用して周知する。</p> <p>③他のイベントとの共同開催や、他団体の教室等に積極的に参加をし、交流することにより、相互の団体・事業の活性化を図る。</p> <p>④今年度は中止となったが、町の一大イベントなので全庁的な協力を依頼し、動員をかけていく。</p> <p>⑤今後も参加者も安全を第一に考えつつ、より一層の積極的な広報活動を行い、出展品数を増やし、来場者数が増加するよう努める。</p> <p>⑥イベント開催形態の見直しと適切な感染症対策を実施し、持続可能なイベント内容等を検討する。</p> <p>⑦中止した事業が多いが、今後、文化祭等の飲食を伴う野外イベントでの「ごみ問題」を対策し、分別だけでなくリユース食器やエコ容器の代用を検討する。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①部門によっては、人脈を使って出展募集をかけているのが現状で、担当実行委員の負担増が必至であり、募集に係る広報を町外にも幅広く行うことも検討する。</p>					
-------------------	--	--	--	--	--	--

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

<p>事業の計画・今後の方向性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>見直し</p>	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>・様々な学習活動の支援を得る中で人材の発掘及び指導者の育成を行い、将来的には分野の垣根を越えて、指導者又は講師として活躍できるよう支援する。</p> <p>・文化活動団体・個人に対し、費用面、活動場所や機会の提供等の多面的な支援の継続をしながら、団体間の交流を勧奨する。</p>
---------------------	--	--



# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑯図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」 Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○資料・情報の提供 図書、雑誌、新聞等の印刷物、CD・DVDなどの音響・映像資料に加え、ウェブ上で見ることのできる電子図書など、各種の図書館資料を幅広く収集し、子どもから高齢者までそれぞれの年齢層に合った資料をニーズに応じて迅速かつ的確に提供する。 また、館内のインターネットアクセス端末からウェブの情報にもアクセスできるようにする。 ○子どもの読書の推進 絵本や児童図書の利用の促進(季節やテーマに沿った絵本の面展示・表紙の展示、小中学生向け調べもの学習資料の充実)とともに、乳幼児向け(ブックスタート、ゆりかごおはなし会)、児童生徒向け(おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏・冬のつどい、本の森探検隊)の年齢層に合わせた行事を継続して行うことにより、子どもの読書推進を図る。 ○生涯学習事業の推進 映画上映会や各種コンサート、講演会等を実施して、人々が集い交流する生涯学習の場を提供する。
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○令和4年度統計	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>259,433冊</td> <td>260,390冊</td> </tr> <tr> <td>入館者数</td> <td>90,676人</td> <td>96,434人</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td>67,559人</td> <td>63,301人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>252,137冊</td> <td>234,833冊</td> </tr> <tr> <td>ネット予約件数</td> <td>21,922件</td> <td>21,478件</td> </tr> <tr> <td>ネット延長件数</td> <td>10,556件</td> <td>9,228件</td> </tr> <tr> <td>HPアクセス数</td> <td>83,257回</td> <td>84,663回</td> </tr> <tr> <td>読書通帳(累計)</td> <td>5,453冊</td> <td>5,779冊</td> </tr> <tr> <td>電子図書登録者数</td> <td>9,813人</td> <td>11,500人</td> </tr> <tr> <td>電子図書貸出回数</td> <td>1,642回</td> <td>1,614回</td> </tr> </tbody> </table>			R3年度	R4年度	蔵書冊数	259,433冊	260,390冊	入館者数	90,676人	96,434人	貸出人数	67,559人	63,301人	貸出冊数	252,137冊	234,833冊	ネット予約件数	21,922件	21,478件	ネット延長件数	10,556件	9,228件	HPアクセス数	83,257回	84,663回	読書通帳(累計)	5,453冊	5,779冊	電子図書登録者数	9,813人	11,500人	電子図書貸出回数	1,642回	1,614回																																																	
		R3年度	R4年度																																																																																		
	蔵書冊数	259,433冊	260,390冊																																																																																		
	入館者数	90,676人	96,434人																																																																																		
	貸出人数	67,559人	63,301人																																																																																		
	貸出冊数	252,137冊	234,833冊																																																																																		
	ネット予約件数	21,922件	21,478件																																																																																		
	ネット延長件数	10,556件	9,228件																																																																																		
	HPアクセス数	83,257回	84,663回																																																																																		
	読書通帳(累計)	5,453冊	5,779冊																																																																																		
電子図書登録者数	9,813人	11,500人																																																																																			
電子図書貸出回数	1,642回	1,614回																																																																																			
	○図書館行事	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">行事名</th> <th rowspan="2">概要</th> <th colspan="2">参加人数(人)</th> </tr> <tr> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート</td> <td>11ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘い、赤ちゃんの成長の手助けをする</td> <td>125</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>◇ゆりかごおはなし会</td> <td>0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど</td> <td>—</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>◇おはなし会</td> <td>小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)</td> <td>14</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>◇土曜の午後のおはなし会</td> <td>お話しボランティアによる絵本の読み聞かせや折り紙</td> <td>7</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>◆夏のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事</td> <td>45</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>◇映画上映会</td> <td>名作映画の上映会</td> <td>559</td> <td>719</td> </tr> <tr> <td>◆アニメ映画会</td> <td>子ども向けアニメ映画の上映会</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>本の森探検隊</td> <td>テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親しむイベント</td> <td>—</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>◇フロアーコンサート</td> <td>図書館の開架室でギターマンドリンコンサート</td> <td>—</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>大人のためのストーリーテリング</td> <td>大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるイベント</td> <td>—</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>四国八十八か所講演会</td> <td>四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会</td> <td>14</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>小学生一日図書館員体験</td> <td>図書館業務を通して、仕事の大切さを知ってもらう</td> <td>—</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>本の帯コンテスト</td> <td>子供たちがお気に入りの本の帯を作成し、展示する</td> <td>6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>冬(春)のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事</td> <td>50</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>◆ブックリサイクル</td> <td>除籍済の図書資料を住民に提供</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ぬいぐるみとしょかんおとまり会</td> <td>ぬいぐるみと一緒におはなし会の後、図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント</td> <td>—</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>◆童謡コンサート</td> <td>武鹿悦子先生作詩の童謡・唱歌の演奏会</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>◆クリスマスコンサート</td> <td>町内コーラス団体等による演奏会</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>820</td> <td>1,113</td> </tr> </tbody> </table>		行事名	概要	参加人数(人)		R3年度	R4年度	ブックスタート	11ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘い、赤ちゃんの成長の手助けをする	125	126	◇ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど	—	7	◇おはなし会	小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)	14	5	◇土曜の午後のおはなし会	お話しボランティアによる絵本の読み聞かせや折り紙	7	6	◆夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	45	—	◇映画上映会	名作映画の上映会	559	719	◆アニメ映画会	子ども向けアニメ映画の上映会	—	—	本の森探検隊	テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親しむイベント	—	32	◇フロアーコンサート	図書館の開架室でギターマンドリンコンサート	—	70	大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるイベント	—	28	四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会	14	28	小学生一日図書館員体験	図書館業務を通して、仕事の大切さを知ってもらう	—	6	本の帯コンテスト	子供たちがお気に入りの本の帯を作成し、展示する	6	11	冬(春)のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	50	40	◆ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供	—	—	ぬいぐるみとしょかんおとまり会	ぬいぐるみと一緒におはなし会の後、図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント	—	35	◆童謡コンサート	武鹿悦子先生作詩の童謡・唱歌の演奏会	—	—	◆クリスマスコンサート	町内コーラス団体等による演奏会	—	—		計	820	1,113
行事名	概要	参加人数(人)																																																																																			
		R3年度	R4年度																																																																																		
ブックスタート	11ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘い、赤ちゃんの成長の手助けをする	125	126																																																																																		
◇ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど	—	7																																																																																		
◇おはなし会	小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)	14	5																																																																																		
◇土曜の午後のおはなし会	お話しボランティアによる絵本の読み聞かせや折り紙	7	6																																																																																		
◆夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	45	—																																																																																		
◇映画上映会	名作映画の上映会	559	719																																																																																		
◆アニメ映画会	子ども向けアニメ映画の上映会	—	—																																																																																		
本の森探検隊	テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親しむイベント	—	32																																																																																		
◇フロアーコンサート	図書館の開架室でギターマンドリンコンサート	—	70																																																																																		
大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるイベント	—	28																																																																																		
四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会	14	28																																																																																		
小学生一日図書館員体験	図書館業務を通して、仕事の大切さを知ってもらう	—	6																																																																																		
本の帯コンテスト	子供たちがお気に入りの本の帯を作成し、展示する	6	11																																																																																		
冬(春)のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	50	40																																																																																		
◆ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供	—	—																																																																																		
ぬいぐるみとしょかんおとまり会	ぬいぐるみと一緒におはなし会の後、図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント	—	35																																																																																		
◆童謡コンサート	武鹿悦子先生作詩の童謡・唱歌の演奏会	—	—																																																																																		
◆クリスマスコンサート	町内コーラス団体等による演奏会	—	—																																																																																		
	計	820	1,113																																																																																		
	※◆マークは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、◇マークは一部中止した行事																																																																																				
	○リクエスト・相互貸借サービス 図書館で所蔵していない図書の申込みに対して、購入もしくは近隣図書館からの貸借を行い、提供している。近隣の図書館と提携することで、既に絶版の本や長編シリーズなど、購入できない図書を迅速に提供する。また、町民が県立図書館情報館で借りた図書を当館のカウンターで、返却できるサービスを実施している。																																																																																				
	○郵送貸出サービス コロナ以外にも来館が困難な方へのサポートとして、図書等を自宅に郵送するサービスを実施している。																																																																																				

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>○資料情報の提供                  話題の図書などに常に注意しながら、可能な限り住民のリクエストなどの要望に応えるよう予算の範囲内で各種資料の内容充実を努めたが、資料購入数は前年度に比べ、110冊(枚)の減少となり、貸出冊数は前年度より17,304冊の減少となった。一方、寄贈図書を加えると、蔵書冊数は前年度より957冊増加となった。</p> <p>また、令和3年3月から貸出を開始した電子図書館については、貸出及び返却時の来館の必要がなく、現在のような感染症流行時や病気等の理由により外出できない場合においても、24時間、手軽に遠隔による図書の貸し出しが可能である。加えて、書籍を持ち運ぶことなくスマートフォン等で手軽に読書を楽しむことができるという利点からも、今後の需要増が見込まれるものと考えられる。【成果指標①、④】</p> <p>○こどもの読書推進                  4年度も新型コロナウイルスの影響を受け、こども向けの事業の多くが中止もしくは縮小実施となった。おはなし会などの密室で行うイベントは、前年度に引き続き中止・縮小となったが、本の森探検隊や本の帯コンテスト、小学生一日図書館員、ぬいぐるみ図書館おとまり会など、密にならないイベントを再開し、多くの参加者があったことから、こどもの読書推進事業において一定の成果が挙げられた。【成果指標②】</p> <p>○生涯学習の推進                  他事業と同様に、新型コロナウイルスの影響で行事が相次いで中止もしくは縮小実施となり、参加者数は減少となった。映画上映会については開催希望が多く、感染症対策をとったうえで実施し、昨年度と比べ参加者が160人増加した。【成果指標③】</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)		
	①資料情報の提供	図書・雑誌・CD・DVD等購入数	冊(枚)	6,275	6,165	R3	9,294,965	R4
②子どもの読書推進	参加者数	人	247	268	R3	109,175	R4	109,747
③おとなの読書推進	参加者数	人	573	845	R3	0	R4	0
④電子図書館の推進	コンテンツ購入数	冊	19	106	R3	97,956	R4	498,806

③事業の課題	【継続的な課題】
	①普段図書館を利用していない方を対象とした読書環境の充実。
	【新たな課題】
	①電子図書館の更なる利用促進。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】
	①広報に電子図書館のQRコードを掲載することで、スマートフォン等からすぐに電子図書館へとアクセスできるようにし、また新着資料のコーナーを設けることにより、普段図書館を利用しない層に向けてPRした。このように図書館に出向くことなく読書を楽しめる「電子図書館」を活用することで、普段図書館を利用しない層の読書環境の充実に寄与した。また、令和5年度からSNS(インスタグラム)での情報発信を開始することにより、多くの情報を提供していく。
	【新たな課題に対する改善方法の検討】
	①令和4年度に小中学生全員に電子図書館のID・パスワードを付与したことで、学校から貸与されるタブレットや自身のスマートフォンから電子図書を読むことが可能となり、こどもの読書推進につながった。今後は高校やPSS35キャンパス内に予定しているライブラリーカフェなど、あらゆる読書の機会を捉え、利用できる範囲の拡大に向けて交渉していく。
	一方、貸出回数についてはやや減少となっているので、引き続き利用者の要望に耳を傾け、近隣の図書館の選書方針も参考にすることで、コンテンツを充実させる。また、入荷した新刊書を広報や掲示ポスター等、普段電子図書を触ったことのない層にアピールすることで利用促進を図る。
	また、令和5年度からは新たに電子雑誌読み放題サービスを導入し、150誌以上の雑誌タイトルを読み放題とし、更なる利用促進を図る。

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	<p>・町民に対して十分な資料や情報を提供できるよう、図書館の基本的業務の履行はもとより、様々な行事を通じて図書館の魅力を最大限にアピールし、「三郷町まちづくり総合戦略」の目標達成を目指す。また、生涯教育の推進を始め、ひとりでも多くの人々が憩いの場として利用できる図書館の環境づくりを積極的に進める。</p> <p>・利用者の意見や要望を真摯に受け止め、利用者一人ひとりが満足できる図書館となるよう、充実した資料の収集や豊かな情報の提供に努め、ウェブを活用することにより、より多くの人に図書館を利用いただけるようPRする。</p> <p>・年齢、性別、また、障がいの有無にかかわらず、本をいつでも、どこでも、それぞれのニーズに応じた方法で提供できる図書館づくりに努める。</p>	

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑩生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも継続的に気軽に楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。</li> <li>・健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。</li> <li>・青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツの推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町スポーツ協会や三郷町スポーツ少年団及び三郷町スポーツ推進委員などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。令和4年度より、奈良クラブ応援事業として、三郷町民サポーター推進協議会を立ち上げ、町民サポーターの会員募集及び啓発を行う。</li> </ul> </li> <li>○軽スポーツ事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらえるように、各種軽スポーツ大会等を実施する。</li> </ul> </li> <li>◎総合型地域スポーツクラブへの支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」が自立して運営できるよう支援を行う。</li> </ul> </li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツの推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①町民マラソン・駅伝大会の開催                                     <p>地域住民がイベントを通じてスポーツに親しみながら、健康増進することを目的として、三郷町スポーツ少年団や各種団体の協力のもと三郷町スポーツ協会主催で「大和川を走ろう大会」を1月22日(日)に大和川河川敷で、従来のマラソン・駅伝大会とは違った形で開催した。</p> </li> <li>②野球審判講習会                                     <p>盛んなスポーツのひとつである野球の試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正にも適宜対応できるよう、12月18日(日)に審判講習会を開催した。</p> </li> <li>③関係団体に補助金の助成                                     <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">【三郷町スポーツ協会】</td> <td style="border: none; text-align: right;">補助金額</td> <td style="border: none; text-align: right;">1,544,472円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">【三郷町スポーツ少年団】</td> <td style="border: none; text-align: right;">補助金額</td> <td style="border: none; text-align: right;">535,988円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">【三郷町民サポーター推進協議会】</td> <td style="border: none; text-align: right;">補助金額</td> <td style="border: none; text-align: right;">3,410,587円</td> </tr> </table> <p>サポーターの会員募集数について、当初3,000人を目標にしていたが、3,600人もの会員応募があり、啓発物品が不足した為、追加作成を行った。</p> </li> <li>④三郷町スポーツ推進委員                                     <p>スポーツ振興のため、子ども人権学習支援事業などに出向き、住民に対しスポーツの実技指導等を実施した。</p> </li> <li>⑤軽スポーツ事業                                     <p>三郷町スポーツ協会主催で9月11日(日)に「軽スポーツ大会」を3種目で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止した。</p> </li> <li>⑥総合型地域スポーツクラブへの支援                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室開催場所(グラウンド)の優先確保</li> <li>・教室の夜間開催 6教室 269回開催 延べ参加者1,759名</li> <li>・教室の土曜開催 1教室 26回開催 延べ参加者 410名</li> </ul> <p>また、同クラブの主な事業となる各種教室については、未就学児・小学生向けのキッズダンスやジュニアサッカー、ジュニアテニス、ランニング、ティーボール、また、一般・シニア世代向けにサークルとしてノルディックウォーキング等を開催。太極拳やエアロビクス、体操、ストレッチや様々な種類のヨガ教室など37教室を展開。 全ての教室やサークルにおける開催回数は延べ1,428回で、参加人数は延べ8,903人。</p> </li> </ul> </li> </ul>	【三郷町スポーツ協会】	補助金額	1,544,472円	【三郷町スポーツ少年団】	補助金額	535,988円	【三郷町民サポーター推進協議会】	補助金額	3,410,587円
【三郷町スポーツ協会】	補助金額	1,544,472円								
【三郷町スポーツ少年団】	補助金額	535,988円								
【三郷町民サポーター推進協議会】	補助金額	3,410,587円								

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○関係団体への補助金による助成          ・「三郷町スポーツ協会」、「三郷町スポーツ少年団」、「三郷町民サポーター推進協議会」に運営補助金を交付し、組織の育成及び強化を図った。なお、令和3年度は、各種行事のほとんどが中止になっていたが、令和4年度はウィズコロナの風潮が強くなり、一定数、事業が再開されたことから、参加人数は大幅に増加した。【成果指標①②⑥】</p> <p>◎総合型地域スポーツクラブ          ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだものの、会員継続更新や新規会員の入会に影響が出ており会員増に繋がらず、年間の教室参加人数は減少した。また、各教室の未参加者への参加を促したが、実績は270名と減少した。【成果指標④】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度	決算額(円)
	①三郷町スポーツ協会事業	参加人数	人	640	1,488	R 3 1,589,953 R 4 1,544,472
②三郷町スポーツ少年団事業	参加人数	人	98	379	R 3 499,206 R 4 535,988	
③町民体育祭	競技参加人数	人	中止	中止	R 3 0 R 4 0	
④総合型地域スポーツクラブ事業	教室参加人数	人	9,571	8,903	R 3 <del>9,571</del> R 4 <del>8,903</del>	
⑤三郷町民サポーター推進協議会事業	会員数	人	—	3,600	R 3 — R 4 3,410,587	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①総合型地域スポーツクラブの運営には、スポーツくじ助成金を平成27年度から令和元年度までの5年間受けていたが、令和2年度以降については、新たに3年間の助成金を受けるものの、従前の半分程度に減額となることから、今後の運営は極めて厳しくなっている。今後は、助成金に頼らず、継続的な自立運営ができるよう、各種教室の実施場所や人材の確保、クラブ運営システムの確立が急務である。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられるに伴い、これまで感染拡大防止の諸対策により実施してきた制限を状況に応じて緩和し、各種事業を従前の運営方法に徐々に戻していく必要がある。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①スポーツ推進の波が急加速しており、サッカーJリーグの奈良クラブに加え、バレーボールのVリーグ「Dreamers」との連携協定締結やFSS35スポーツパークのオープンを見据え、本町におけるスポーツ推進の在り方の見直しは必須である。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①総合型地域スポーツクラブの運営に際し、文化振興財団主催の学級運営に係る施設の優先利用及び施設使用料減免等、相互の各教室運営のための施設利用方法が必要となる。また、併せて文化センターの一般利用者との兼ね合いで、優先的な施設利用を控えるべき側面もあることから、今後は他の施設利用も検討する。</p> <p>②感染症対策を行いながらスポーツ活動を行ってきた中で、感染症の分類が5類に引き下げられるものの、予防対策を講じながら、従前のスポーツ活動が再開できるように取り組んでいく。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①「スポーツの町」とするべく、今後も積極的な取組を推進し、豊富な機会と恵まれたチャンスを活かすべく、各種イベントを企画・活用しながら、スポーツ人口と交流人口を増加させることで町の活性化につなげる。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」の自立運営を目指し、新たな種目の追加をはじめ、町が進める健康づくり・介護予防につながる教室の検討や感染症対策も兼ねたリモート教室等の開催により、クラブ入会に係るPRを積極的に実施。</p> <p>・各団体において、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられることから、段階的にコロナ前の活動に戻していく。</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ等を活用し、中学校の部活動指導を段階的に地域移行していく。</p>

# 令和4年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	⑩スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。</li> <li>・自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの運営を支援をします。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大を図る。</li> </ul> </li> <li>○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うため、スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて指定管理により運営する。</li> </ul> </li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年による各施設の維持修繕が必要になっていることから、随時、修繕及び改修を行い、施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。加えて、奈良学園大学跡地に設置したFSS35キャンパス内にFSS35スポーツパークを整備した。</li> </ul> </li> <li>①竜田運動公園 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、テニス等</li> <li>施設整備：真砂土入替、バックネット防護マット、トイレ修繕 (決算額：2,214,270円)</li> </ul> </li> <li>②勢野グラウンド <ul style="list-style-type: none"> <li>利用種目：学童軟式野球、女子ソフトボール、少女ソフトボール</li> <li>施設整備：真砂土入替 (決算額：227,150円)</li> </ul> </li> <li>③スポーツセンター <ul style="list-style-type: none"> <li>利用種目：卓球、軽スポーツ、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等</li> <li>施設整備：サブアリーナ空調設備修繕、防球ネット設置、防犯カメラ改修 (決算額：1,640,540円)</li> </ul> </li> <li>④ウォーターパーク <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備：温泉水揚水ポンプ取替、玄関前舗装修繕 (決算額：1,985,500円)</li> </ul> </li> <li>⑤中央公園多目的広場 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー等</li> <li>施設整備：グラウンド凍結防止、区画線整備、ミストシャワー修繕 (決算額：1,432,480円)</li> </ul> </li> <li>⑥FSS35スポーツパーク【新設：まちづくり推進課】 <ul style="list-style-type: none"> <li>利用種目：スケートボード・BMX・バスケットボール・テニス</li> <li>施設整備：新規設置 (決算額：116,836,500円)</li> </ul> </li> <li>○指定管理制度の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間のノウハウを活かし、効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成30年度から5年間スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて(株)翔成へ指定管理業務を委託。 (指定管理料：平成30年度～令和4年度 112,417,000円)</li> </ul> </li> <li>○三郷中央公園スポーツ施設長寿命化計画策定業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を行うため、スポーツセンター、ウォーターパーク、三郷中央公園多目的広場の長寿命化計画を策定した。 (決算額：8,932,000円)</li> </ul> </li> </ul>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○スポーツ施設の整備          ・ウォーターパークの温泉揚水ポンプ等取替工事等を行った。その他、ウォーターパークやスポーツセンターの老朽に伴う修繕や施設改修を行い、安全で安心な施設運営を図った。加えて、奈良学園大学跡地に設置したFSS35キャンパス内にFSS35スポーツパーク（スケートボード・BMX・バスケットボール・テニス）を新たに整備し、令和5年度にオープンする。（まちづくり推進課）</p> <p>○スポーツ施設の運用          ・ウォーターパークの町民限定利用など、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、利用者の体力の維持・増進や健康で明るい生活の充実、また、利用者同士の親睦に寄与した。</p> <p>○指定管理制度の導入          ・平成22年度以降、ウォーターパーク及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを活かして、効率的・効果的な施設運営と経費の削減が図れている。なお、現行の指定管理業務委託は、平成30年度から令和4年度までの5年間で引き続き(株)三郷中央公園スポーツ施設長寿寿命化計画策定業務</p> <p>○社会資本整備総合交付金として、策定業務費の1/2相当の4,450,000円を国庫補助金で受け入れ。</p>
-------------	---

②成果指標	施設名	成果指標名	単位	R3年度	R4年度
	①健民グラウンド	利用者数	人	27,339	26,574
②テニスコート	利用者数	人	1,067	5,961	
③中央公園多目的広場	利用者数	人	33,045	34,032	
④勢野グラウンド	利用者数	人	4,857	3,877	
⑤スポーツセンター	利用者数	人	61,819	68,904	
⑥ウォーターパーク	利用者数	人	17,071	21,371	

③事業の課題	<p><b>【継続的な課題】</b></p> <p>①施設の維持管理          ・各施設の経年劣化による不具合や故障が頻繁に発生し、維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。</p> <p>②総合型地域スポーツクラブの自主運営には、教室数及び会員数を増加させる必要があるが、新教室を開講する場所がない。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられることから、今後スポーツの機会を提供するために、感染症拡大防止のために利用制限をかけていた施設運営を緩和していく必要がある。</p> <p><b>【新たな課題】</b></p> <p>①スポーツ施設の整備として、令和5年4月から新たに開設するFSS35スポーツパークを障がいの有無にかかわらず、すべての人が楽しめるインクルーシブなスポーツ施設を目指すため、更なる施設整備が必要となる。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p><b>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</b></p> <p>①施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修等を行う。</p> <p>②総合型地域スポーツクラブの自主運営に向けて、学校開放制度を有効活用した。引き続き、その他の施設の空いている場所・時間を有効活用していく。</p> <p>③利用人数等を減じて設定していた各施設の制限を緩和するとともに、感染リスクを軽減するための対策を引き続き行う。</p> <p><b>【新たな課題に対する改善方法の検討】</b></p> <p>①インクルーシブなスポーツや多様な競技を展開できるスポーツ施設を目指し、効果的に整備を行っていく。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/>予算拡充 <input type="checkbox"/>予算削減 <input checked="" type="checkbox"/>事業拡大 <input type="checkbox"/>事業縮小 <input type="checkbox"/>手法見直し <input type="checkbox"/>休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・三郷中央公園スポーツ施設長寿寿命化計画に沿って、スポーツセンター、ウォーターパーク、三郷中央公園多目的広場を長期的な運用に耐え得る施設や設備の維持管理、改修を行っていく。</p> <p>・コロナ感染症も5類になり感染症対策も緩和されてきていることから、施設利用のニーズに合わせた施設運用を実施していく。</p>		

## IV 学識経験者の知見の活用

### 1. 点検評価有識者：奈良学園大学 学長 金山 憲正

令和4年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、学識経験者に点検評価を依頼し、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言を受けた。

### 2. 指導・助言の内容

- 「教育に関する事務の点検及び評価報告書」には教育委員会及び町内教育関係機関が一体となって町の基本目標を強く意識した施策及び事業について計画的かつ適切に執行されていることが的確に纏められている。
- 各事業の課題解決のための施策に対してPDCAサイクルに沿って充実した改善活動が着実に実施されている。特にA（アクション）で終わらせないで次のP（プラン）に発展させていることにより次年度の「事業概要・目的」が明確になっており、より充実した施策として展開されることが期待できる実りある点検・評価の取り組みとなっている。
- 点検・評価シートの「6今後の計画・方向性」で「手法見直し」にチェックの入った事業項目に関して、これまで実施してきたどの手法をどのように見直そうとしているのかといった具体案を記載しておくことにより次年度に活用できる改善策の準備になると思われる。
- 毎年充実した点検・評価を継続されている三郷町であるので、今後は3つの基本目標の中期・長期的な目標（KGI）とそれを達成させるための基本施策の年度ごとの目標（KPI）の2つの定量目標（数値目標）を設定し事業を推進していくことは活動のさらなる充実・発展に繋がるのではないかと思われる。

令和5年8月21日

金山 憲正